

VI 介護保険事業計画

VI 介護保険事業計画

1. 被保険者数の推計

平成 27 年の第 1 号被保険者数は 10,888 人、28 年は 11,261 人、29 年は 11,852 人と見込まれています。前期被保険者（前期高齢者）、後期被保険者（後期高齢者）ともに増加しますが、団塊の世代が高齢期に達した前期被保険者の方で増加が大きいと推計されます。

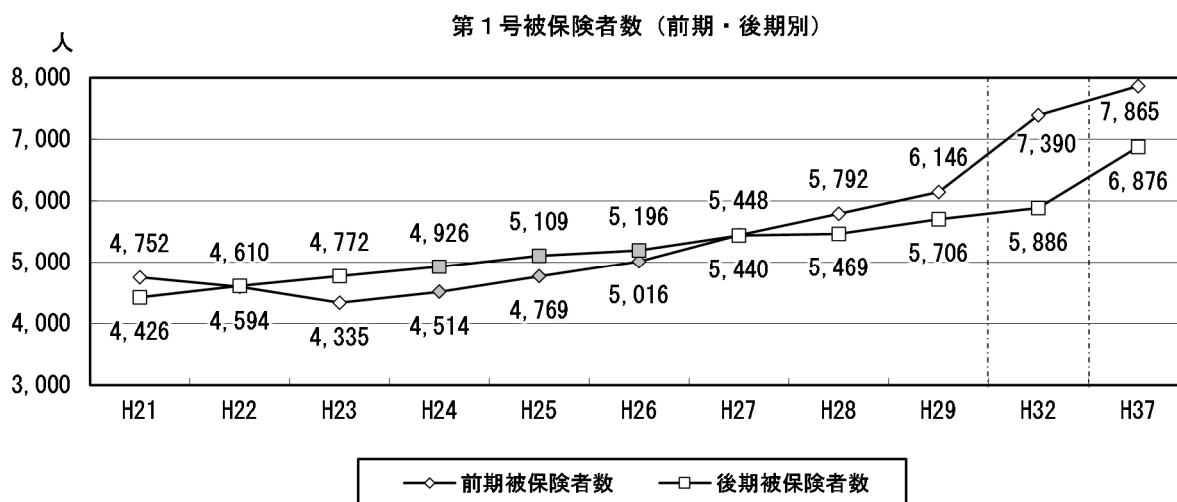
介護保険の利用率が高い後期高齢者の方では、平成 27 年から 28 年にかけては 5,400 人程度で微増となりますが、29 年には 5,706 人となり、237 人増と見込まれます。

■被保険者数

単位：人

	4 期			5 期			6 期				
	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H32	H37
第 1 号被保険者	9,178	9,204	9,107	9,440	9,878	10,212	10,888	11,261	11,852	13,276	14,741
65～74 歳 (前期)	4,752	4,594	4,335	4,514	4,769	5,016	5,448	5,792	6,146	7,390	7,865
75 歳以上 (後期)	4,426	4,610	4,772	4,926	5,109	5,196	5,440	5,469	5,706	5,886	6,876
第 2 号被保険者 (40～64 歳)	18,688	18,996	19,426	19,534	19,560	19,608	19,559	19,499	19,396	19,259	19,455
計	27,866	28,200	28,533	28,974	29,438	29,820	30,447	30,760	31,248	32,535	34,196

資料：実績（H21～26）は介護長寿課。H27～37 は推計値。



2. 要支援・要介護認定者数の推計

認定者数は、後期被保険者数の増加に伴った増え方をし、平成 27 年、28 年は 2,323 人から 2,371 人と緩やかな増、29 年には 2,500 人と推計されます。

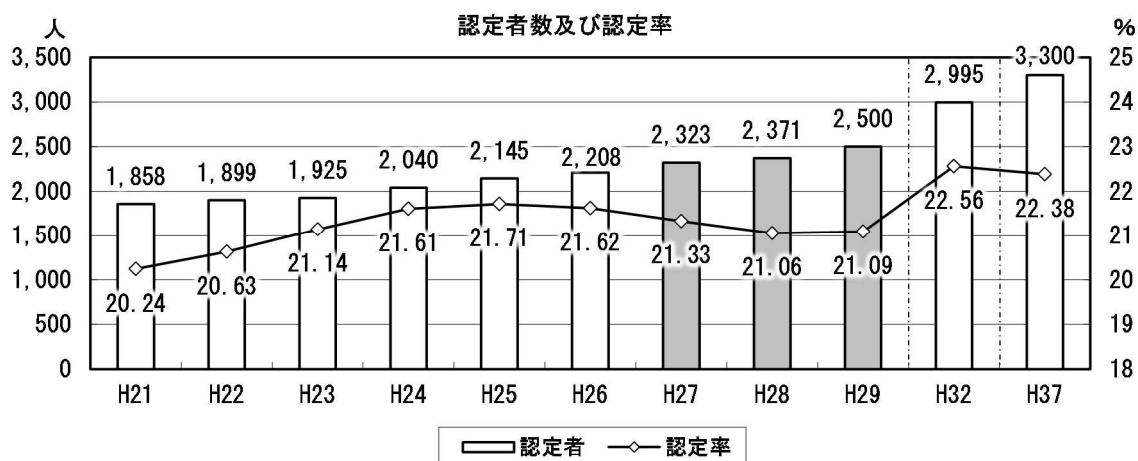
認定率は 21% 台前半で、第 5 期の 21% 台後半に比べると僅かに下がると見込まれますが、介護サービス利用が多い後期高齢者での認定率は第 5 期と同程度になると見込んでいます。

■要介護認定者数

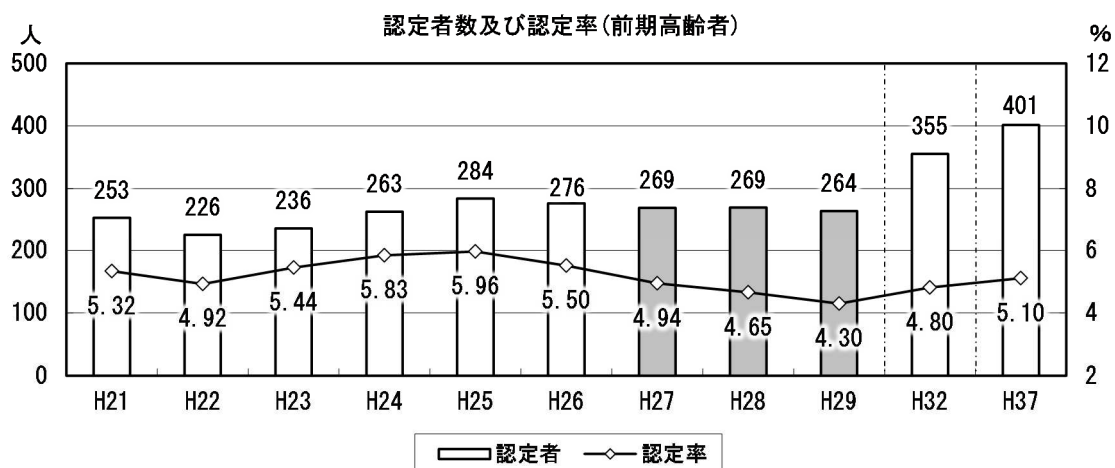
単位：人

	4 期			5 期			6 期				
	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H32	H37
支援 1	245	213	206	190	260	265	281	295	317	364	411
支援 2	170	172	176	220	235	233	240	247	259	300	346
介護 1	309	329	293	361	420	456	511	537	587	710	783
介護 2	311	301	342	325	337	350	367	360	366	431	482
介護 3	304	309	305	347	317	312	300	293	280	306	337
介護 4	280	297	319	336	343	368	406	432	476	616	663
介護 5	239	278	284	261	233	224	218	208	214	268	277
合計	1,858	1,899	1,925	2,040	2,145	2,208	2,323	2,371	2,500	2,995	3,300
第 1 号被保険者数	9,178	9,204	9,107	9,440	9,878	10,212	10,888	11,261	11,852	13,276	14,741
認定率	20.24%	20.63%	21.14%	21.61%	21.71%	21.62%	21.33%	21.06%	21.09%	22.56%	22.38%

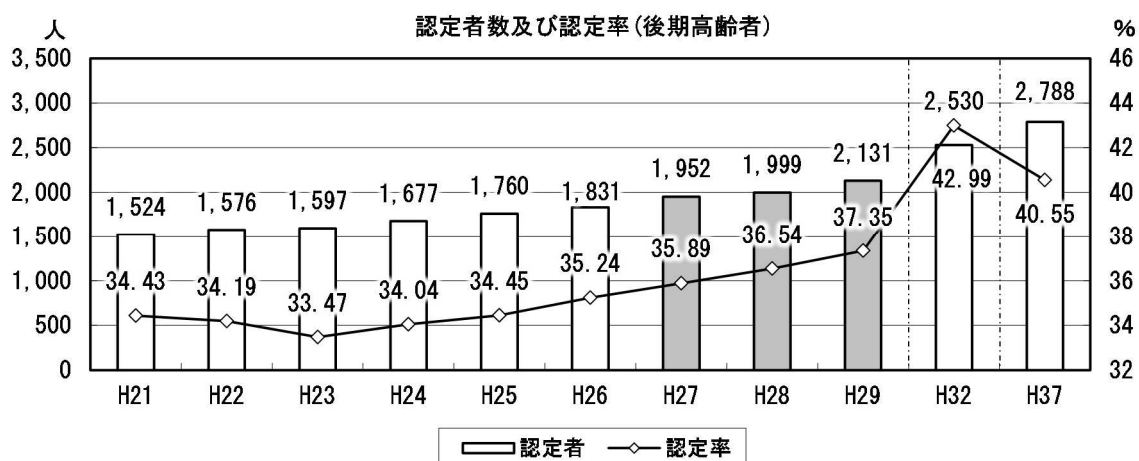
資料：H21～26 は「介護保険事業状況報告（月報）」各年 10 月 1 日現在。H27～H37 は「ワークシート」



前期被保険者の認定率は、4.94%から4.30%に減少すると見込まれています。団塊の世代が高齢期に入ってくる時期であり、65歳、66歳といった比較的若い高齢者では、介護を受ける比率が低いと考えられるため第5期よりやや低く設定しました。



後期被保険者の認定率は、35.89%から37.35%に上昇と見込まれています。後期高齢者の中でもより年齢の高い方が増加すると考えられ、第4期、第5期と比べて認定者が増えると予測されるためです。



3. 各サービスの実績と見込み

(1) 居宅系サービスの見込み

① 訪問介護・介護予防訪問介護

ア) 実績

利用人数…予防給付は各年とも実績が計画を上回っていますが、介護給付は各年とも実績が計画を下回っています。

給付額…給付額は24年度、25年度で計画を下回っており、第5期の利用実績は計画値より約900万円低い約4億円となっています。

イ) 第6期の見込み

実績では26年度で計画値を上回る給付となっています。27年度、28年度は26年度実績に基づきながら、認定者数の伸びを勘案し、増加傾向で見込んでいます。26年実績と比べ27年度では47万円、28年度では198万円増加し、29年度では540万円の減少と推計しています。

第6期3か年の給付額見込みは約4億3,000万円で、5期実績より約3,000万円増と推計しています。

なお、平成29年度で見込みが大きく減少しているのは、新しい総合事業を開始し要支援者での利用分が地域支援事業へと移行するためです。(平成29年度移行の予防給付の見込みを0で設定しています。)

単位：人

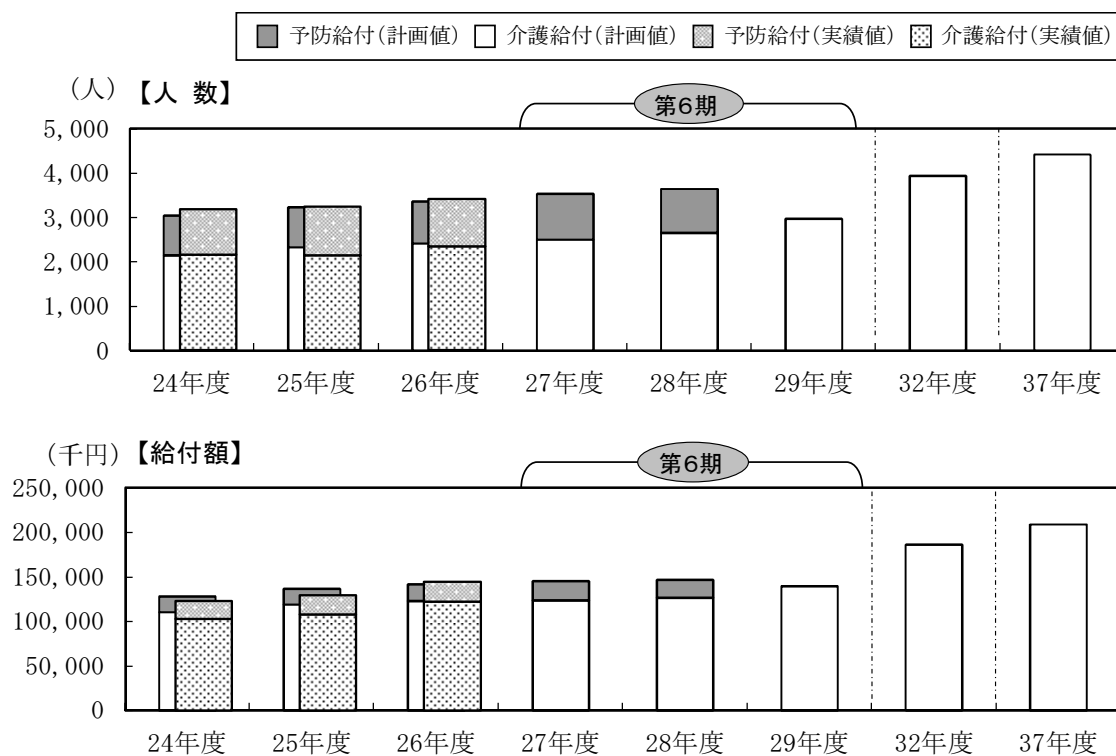
人 数		24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	32 年度	37 年度
計 画	予防給付	898	908	941	1,032	984	0	0	0
	介護給付	2,141	2,319	2,412	2,496	2,652	2,964	3,936	4,416
	合 計	3,039	3,227	3,353	3,528	3,636	2,964	3,936	4,416
実 績	予防給付	1,016	1,090	1,061					
	介護給付	2,140	2,131	2,327					
	合 計	3,156	3,221	3,388					
計画と実績の差		117	△ 6	35					

単位：千円

給付額		24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	32 年度	37 年度
計 画	予防給付	17,507	17,634	18,226	21,215	20,167	0	0	0
	介護給付	109,972	118,523	122,755	123,511	126,076	138,856	185,835	208,545
	合 計	127,479	136,157	140,981	144,726	146,243	138,856	185,835	208,545
実 績	予防給付	19,933	21,846	22,460					
	介護給付	102,474	107,209	121,799					
	合 計	122,407	129,055	144,259					
計画と実績の差		△ 5,072	△ 7,102	3,278					

※平成26年度は、見込みの数値。

訪問介護・介護予防訪問介護



②訪問入浴介護・介護予防訪問入浴介護

7)実績

利用人数…訪問入浴介護は予防給付の実績はありません。介護給付では、各年とも計画値より利用実績が低く、また減少傾向で推移しています。

給付額…給付も計画値を下回っており、第5期の3か年の給付額は500万円で、計画値より約500万円程度低くなっています。

1)第6期の見込み

第5期実績では利用が減少していますが、第6期においては24、25年度の実績を勘案しながら見込んでいます。27年度では約120万円の増加とし、28年度以降は150万円以上で推計しています。

第6期3か年では約710万円で、5期実績より約210万円増と推計しています。

単位：人

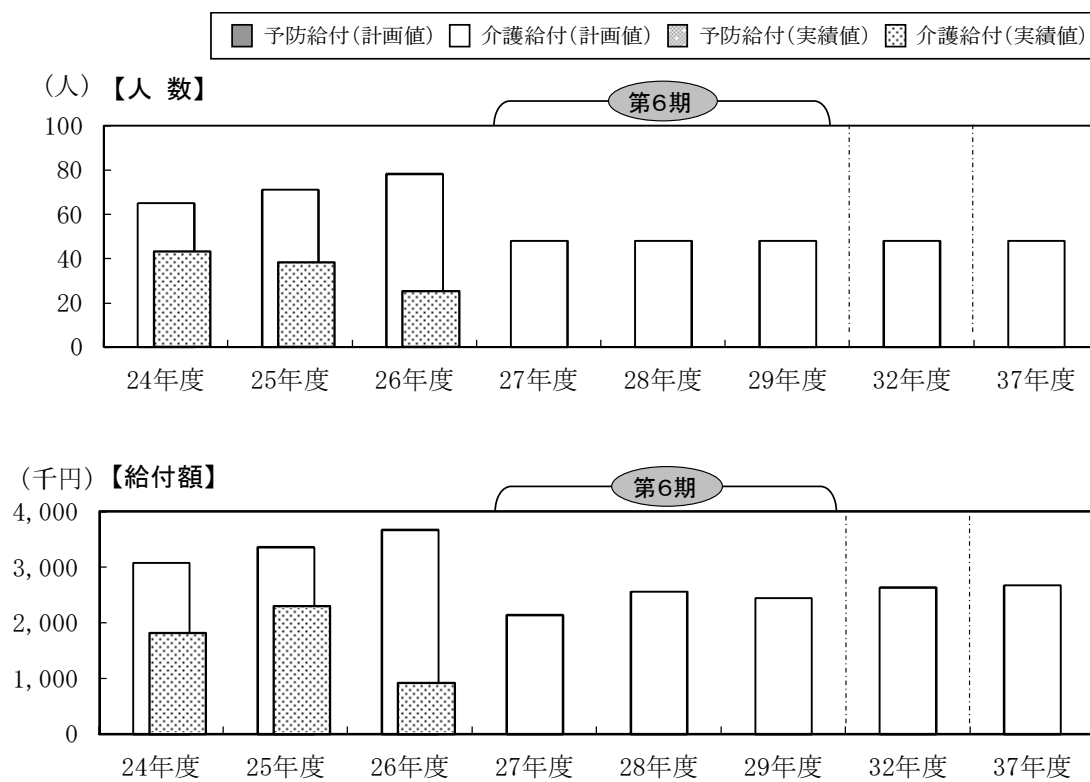
人 数		24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	32 年度	37 年度
計 画	予防給付	0	0	0	0	0	0	0	0
	介護給付	65	71	78	48	48	48	48	48
	合 計	65	71	78	48	48	48	48	48
実 績	予防給付	0	0	0					
	介護給付	43	38	25					
	合 計	43	38	25					
計画と実績の差		△ 22	△ 33	△ 53					

単位：千円

給付額		24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	32 年度	37 年度
計 画	予防給付	0	0	0	0	0	0	0	0
	介護給付	3,075	3,360	3,667	2,137	2,557	2,438	2,628	2,673
	合 計	3,075	3,360	3,667	2,137	2,557	2,438	2,628	2,673
実 績	予防給付	0	0	0					
	介護給付	1,808	2,299	923					
	合 計	1,808	2,299	923					
計画と実績の差		△ 1,267	△ 1,061	△ 2,744					

※平成26年度は、見込みの数値。

訪問入浴介護・介護予防訪問入浴介護



③訪問看護・介護予防訪問看護

ア)実績

利用人数…訪問看護は予防給付の実績が計画値を大きく上回っています。介護給付でも24年度と25年度では計画値を上回っています。

給付額…給付の実績は25年度、26年度で計画値を下回っており、第5期の3か年でみると300万円程度低くなり約3,700万円の給付実績でした。

イ)第6期の見込み

第5期実績から介護給付は概ね横ばいと見込まれますが、認定者数の伸びを勘案し、横ばいから微増で見込んでいます。29年度では26年実績より約120万円の増加と推計しています。

第6期3か年では約4,000万円で、5期実績より約300万円増と推計しています。

単位：人

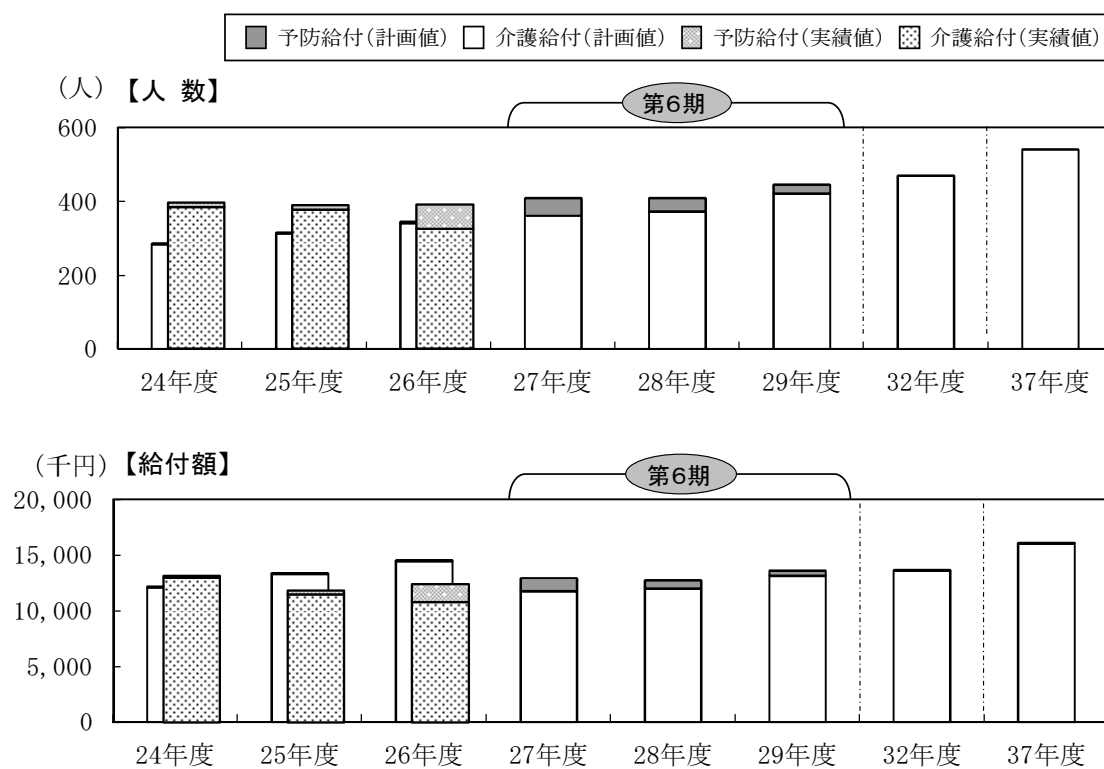
人 数		24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	32 年度	37 年度
計 画	予防給付	2	2	3	48	36	24	0	0
	介護給付	283	312	341	360	372	420	468	540
	合 計	285	314	344	408	408	444	468	540
実 績	予防給付	11	11	66					
	介護給付	382	375	322					
	合 計	393	386	388					
計画と実績の差		108	72	44					

単位：千円

給付額		24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	32 年度	37 年度
計 画	予防給付	61	68	75	1,146	748	472	113	22
	介護給付	12,092	13,278	14,445	11,758	11,966	13,127	13,550	16,040
	合 計	12,153	13,346	14,520	12,904	12,714	13,599	13,663	16,062
実 績	予防給付	181	321	1,608					
	介護給付	12,929	11,448	10,758					
	合 計	13,110	11,769	12,366					
計画と実績の差		957	△ 1,577	△ 2,154					

※平成26年度は、見込みの数値。

訪問看護・介護予防訪問看護



④訪問リハビリテーション・介護予防訪問リハビリテーション

ア)実績

利用人数…訪問リハビリテーションの利用は予防給付、介護給付ともに実績が計画値を下回っています。

給付額…介護給付では、利用人数とは反対に、給付の実績が各年とも計画値より高く、また年々増加しています。第5期3か年の給付額は約2,600万円であり、計画値より約800万円増となっています。

イ)第6期の見込み

第6期においては第5期の実績に基づきながら、認定者数の伸びを勘案し、増加傾向で見込んでいます。29年度では26年実績より約500万円の増加と推計しています。第6期3か年の給付額は約4,300万円で、5期実績より約1,700万円増と推計しています。

単位：人

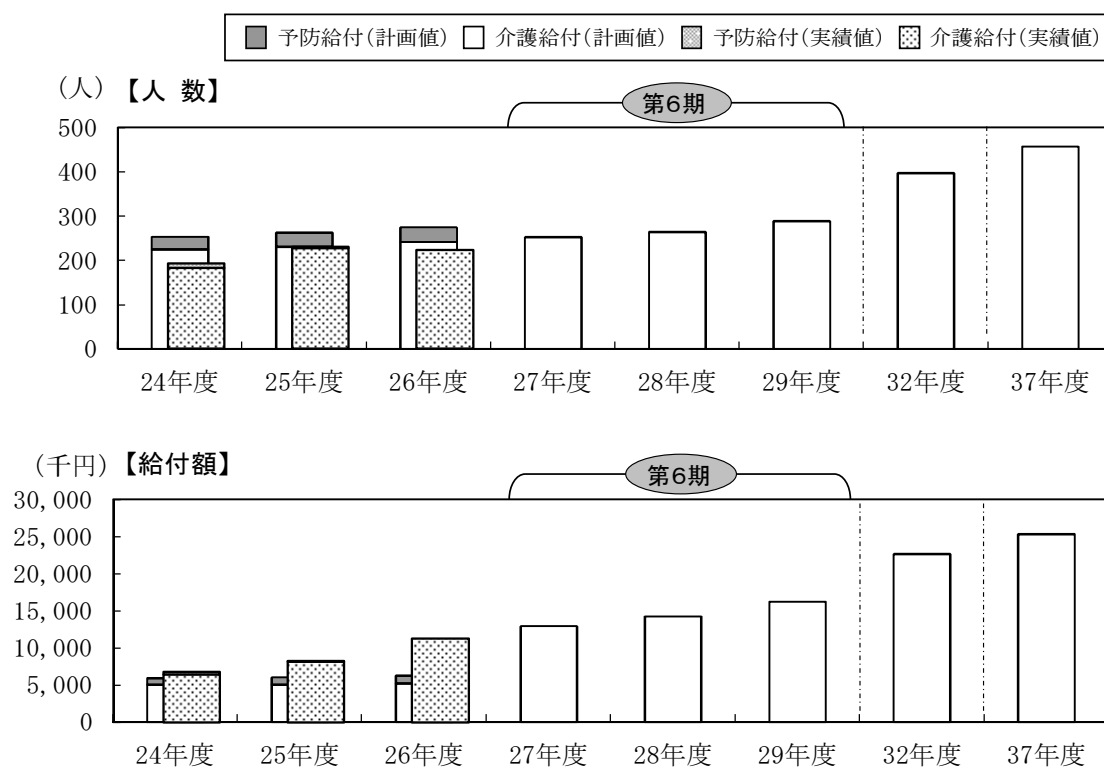
人 数		24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	32 年度	37 年度
計 画	予防給付	29	32	33	0	0	0	0	0
	介護給付	224	230	241	252	264	288	396	456
	合 計	253	262	274	252	264	288	396	456
実 績	予防給付	10	3	0					
	介護給付	181	226	222					
	合 計	191	229	222					
計画と実績の差		△ 62	△ 33	△ 52					

単位：千円

給付額		24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	32 年度	37 年度
計 画	予防給付	891	974	1,025	0	0	0	0	0
	介護給付	5,023	5,058	5,212	12,915	14,226	16,207	22,573	25,311
	合 計	5,914	6,032	6,237	12,915	14,226	16,207	22,573	25,311
実 績	予防給付	291	73	0					
	介護給付	6,463	8,112	11,193					
	合 計	6,754	8,185	11,193					
計画と実績の差		840	2,153	4,956					

※平成26年度は、見込みの数値。

訪問リハビリテーション・介護予防訪問リハビリテーション



⑤居宅療養管理指導・介護予防居宅療養管理指導

ア)実績

利用人数…居宅療養管理指導の予防給付の実績は平成 25 年度の 4 人のみで非常に低いです。介護給付では、25 年度、26 年度で計画値を上回り、年々増加しています。

給 付 額…介護給付も増加傾向で、特に 26 年度は計画値を大きく上回っています。第 5 期 3 か年の給付額は約 1,300 万円であり、計画値より約 340 万円増となっています。

イ)第 6 期の見込み

第 6 期においては第 5 期の実績に基づきながら、認定者数の伸びを勘案し、増加傾向で見込んでいます。29 年度では 26 年実績より約 280 万円の増加と推計しています。第 6 期 3 か年の給付額は約 2,600 万円で、5 期実績より約 1,300 万円増と推計しています。

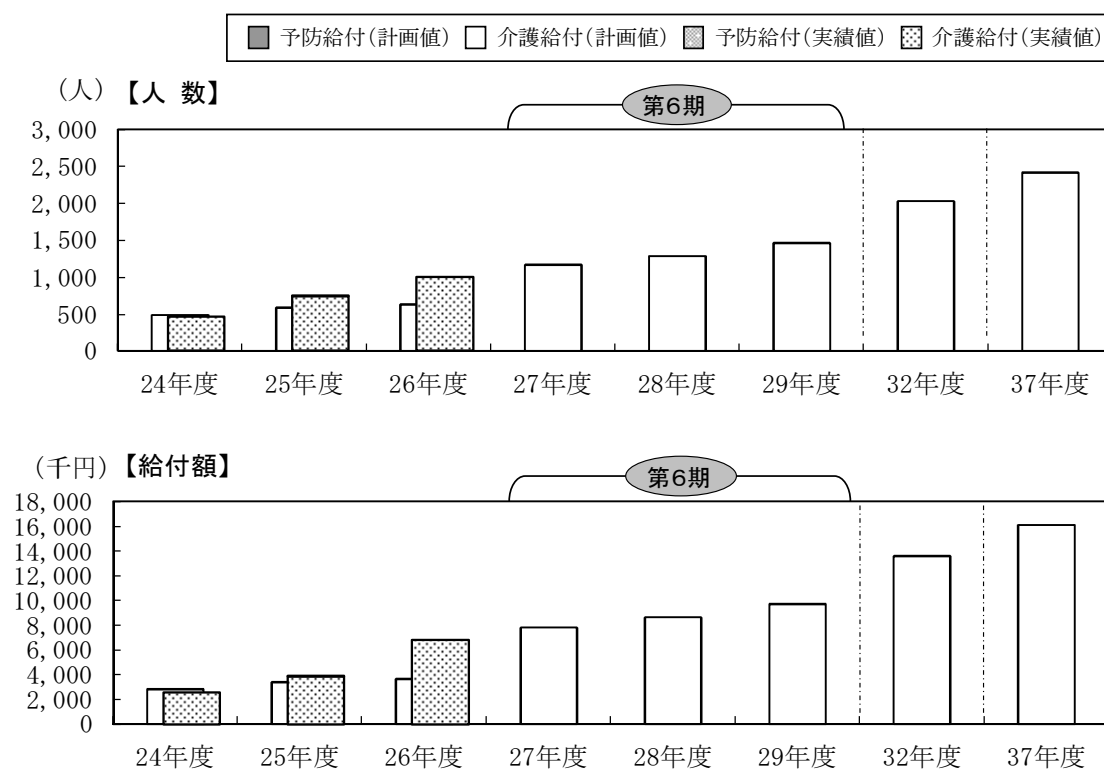
単位：人

人 数		24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	32 年度	37 年度
計 画	予防給付	0	0	0	0	0	0	0	0
	介護給付	487	584	626	1,164	1,284	1,464	2,028	2,412
	合 計	487	584	626	1,164	1,284	1,464	2,028	2,412
実 績	予防給付	0	4	0					
	介護給付	463	738	994					
	合 計	463	742	994					
計画と実績の差		△ 24	158	368					

単位：千円

給付額		24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	32 年度	37 年度
計 画	予防給付	0	0	0	0	0	0	0	0
	介護給付	2,823	3,381	3,626	7,799	8,617	9,689	13,579	16,079
	合 計	2,823	3,381	3,626	7,799	8,617	9,689	13,579	16,079
実 績	予防給付	0	18	0					
	介護給付	2,562	3,857	6,812					
	合 計	2,562	3,875	6,812					
計画と実績の差		△ 261	494	3,186					

※平成 26 年度は、見込みの数値。



⑥通所介護・介護予防通所介護

7)実績

利用人数…利用人数をみると、予防給付は計画値より高く、介護給付は計画値より低くなっています。予防給付の人数が影響し、全体としては計画を上回る利用人数となっています。

給付額…各年とも介護給付は計画値を下回っているものの、予防給付が計画を上回っています。予防給付、介護給付を合わせた給付額の実績は、24、25年度は計画値を上回っていますが、26年度は低く、第5期3か年の給付額は約36億円と、計画値より約620万円減となっています。

1)第6期の見込み

第6期においては第5期の実績に基づきながら、認定者数の伸びを勘案し、見込んでいます。28年度では26年実績より約4,100万円の増加、29年度は増加が約600万円にとどまると推計しています。第6期3か年の給付額は約40億円で、5期実績より約4億円増と推計しています。

なお、平成29年度で見込みが大きく減少しているのは、新しい総合事業を開始し、要支援者での利用分が地域支援事業へと移行するためです。（平成29年度移行の予防給付の見込みを0で設定しています。）

単位：人

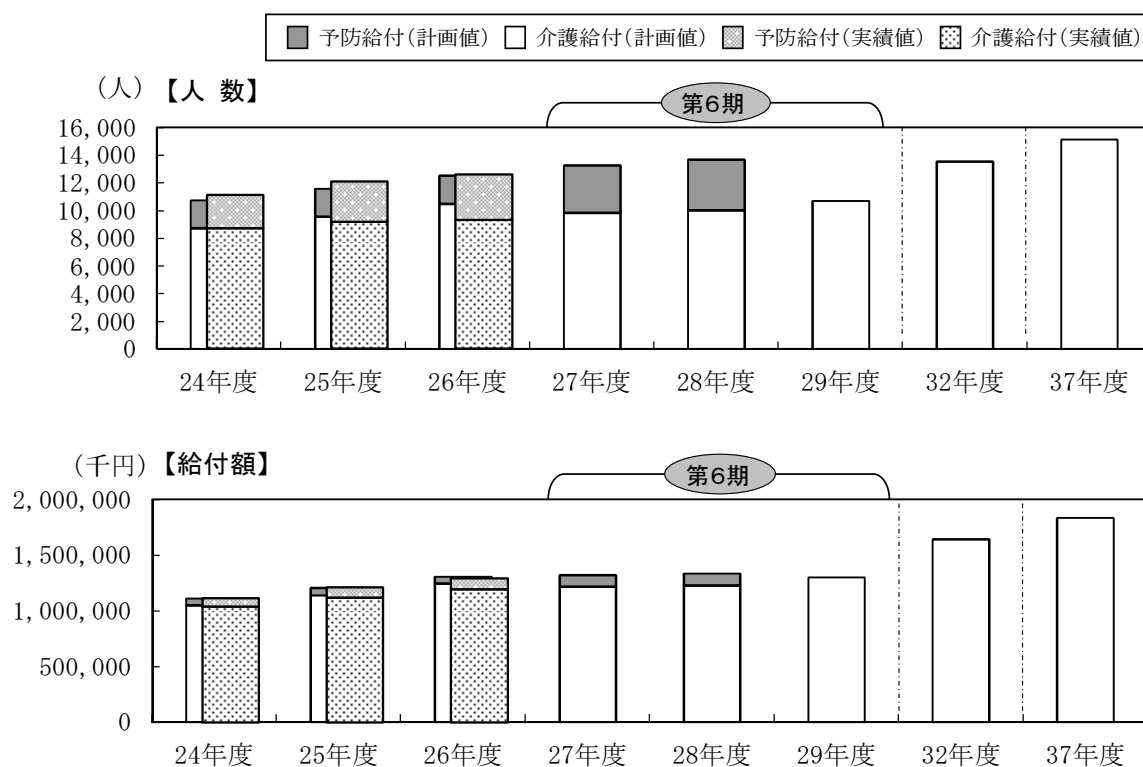
	人 数	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	32 年度	37 年度
計 画	予防給付	2,010	2,010	2,010	3,432	3,636	0	0	0
	介護給付	8,717	9,550	10,476	9,804	10,008	10,680	13,512	15,108
	合 計	10,727	11,560	12,486	13,236	13,644	10,680	13,512	15,108
実 績	予防給付	2,396	2,887	3,306					
	介護給付	8,645	9,136	9,240					
	合 計	11,041	12,023	12,546					
計画と実績の差		314	463	60					

単位：千円

	給付額	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	32 年度	37 年度
計 画	予防給付	62,375	62,375	62,375	102,034	107,753	0	0	0
	介護給付	1,045,444	1,137,890	1,242,428	1,215,216	1,225,193	1,297,697	1,640,280	1,830,315
	合 計	1,107,819	1,200,265	1,304,803	1,317,250	1,332,946	1,297,697	1,640,280	1,830,315
実 績	予防給付	75,480	88,873	100,226					
	介護給付	1,034,312	1,116,484	1,191,299					
	合 計	1,109,792	1,205,357	1,291,525					
計画と実績の差		1,973	5,092	△ 13,278					

※平成26年度は、見込みの数値。

通所介護・介護予防通所介護



⑦通所リハビリテーション・介護予防通所リハビリテーション

ア)実績

利用人数…利用人数は予防給付、介護給付とも微増で推移しています。実績は計画値と比べ、予防給付は上回り、介護給付は25年度、26年度で下回っています。予防給付と介護給付を合わせた3年間の合計では、計画より190人増となっています。

給付額…給付額も微増で推移しています。予防給付は計画より各年約7,000万円から約1億円高くなっていますが、介護給付では平成25年度で約2億5,000万円、26年度で約6億円低く、全体としては計画を大きく下回る実績となっています。第5期3か年の給付額は約10億円であり、計画値より約8,000万円減となっています。

イ)第6期の見込み

第6期においては5期の微増傾向と認定者数の伸びを勘案し、給付額を見込んでいます。29年度では26年実績より約3,000万円の増加と推計しています。第6期3か年の給付額は約11億円で、5期実績より約1億円増と推計しています。

単位：人

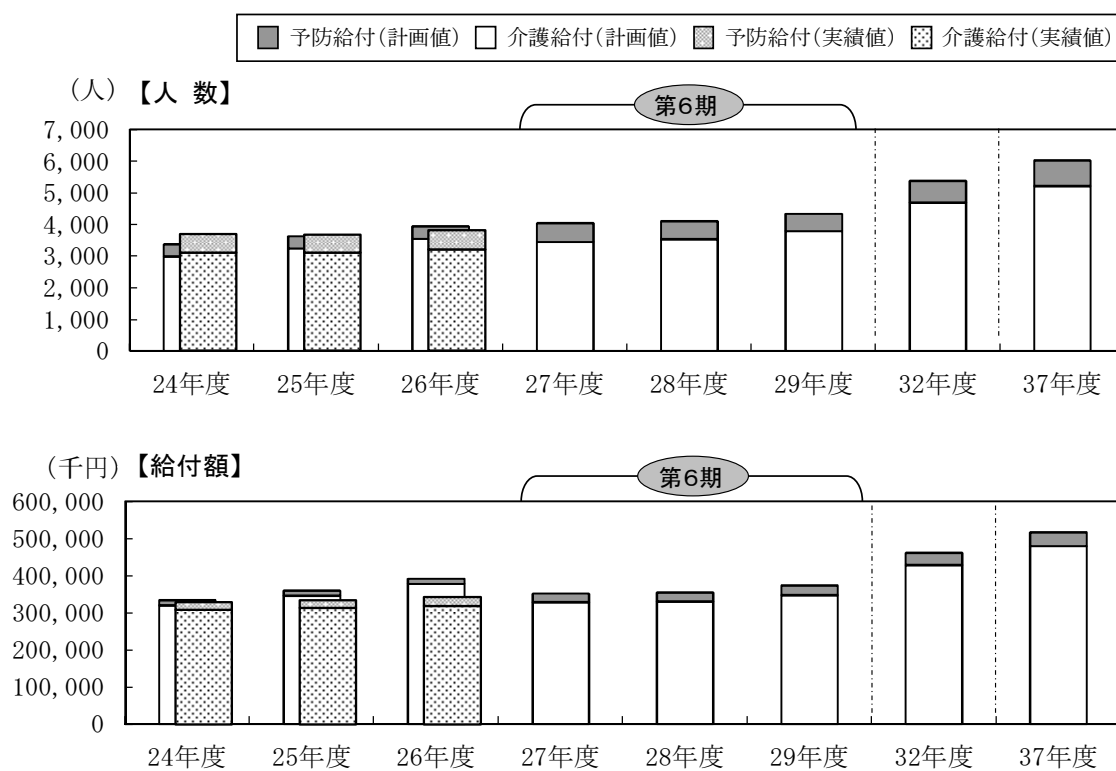
人 数		24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	32 年度	37 年度
計 画	予防給付	386	386	386	588	564	552	696	804
	介護給付	2,977	3,231	3,543	3,444	3,528	3,780	4,680	5,208
	合 計	3,363	3,617	3,929	4,032	4,092	4,332	5,376	6,012
実 績	予防給付	572	573	605					
	介護給付	3,090	3,084	3,175					
	合 計	3,662	3,657	3,780					
計画と実績の差		299	40	△ 149					

単位：千円

給付額		24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	32 年度	37 年度
計 画	予防給付	13,869	13,869	13,869	23,780	24,233	25,193	31,962	36,872
	介護給付	319,702	345,475	377,462	327,636	329,771	347,540	428,864	478,938
	合 計	333,571	359,344	391,331	351,416	354,004	372,733	460,826	515,810
実 績	予防給付	21,148	21,476	23,603					
	介護給付	307,753	312,875	318,717					
	合 計	328,901	334,351	342,320					
計画と実績の差		△ 4,670	△ 24,993	△ 49,011					

※平成26年度は、見込みの数値。

通所リハビリテーション・介護予防通所リハビリテーション



⑧短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護

ア)実績

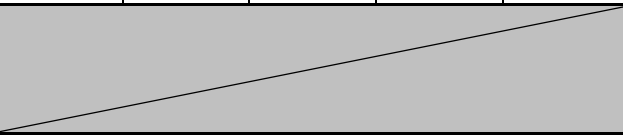
利用人数…利用人数は予防給付、介護給付とも 24 年度、25 年度は概ね横ばいで推移していましたが、26 年度は大きく増加しています。計画値と比べると、介護給付で実績が下回っており、これが影響し、全体的にも利用人数が計画より低くなっています。

給付額…給付額は、予防給付は各年とも計画値より高く、介護給付は 25 年度、26 年度で高くなっており、全体としても 25、26 年度で計画を上回る実績となっています。第 5 期 3 か年の給付額は約 1 億 8,000 万円であり、計画値より約 680 万円増となっています。

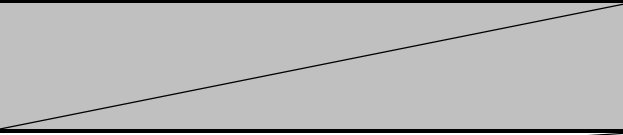
イ)第 6 期の見込み

第 6 期においては第 5 期の実績と認定者数の伸びを勘案し、増加傾向で見込んでいます。29 年度では 26 年実績より約 730 万円の増加と推計しています。第 6 期 3 か年の給付額は約 2 億 1,000 万円で、5 期実績より約 3,000 万円増と推計しています。

単位：人

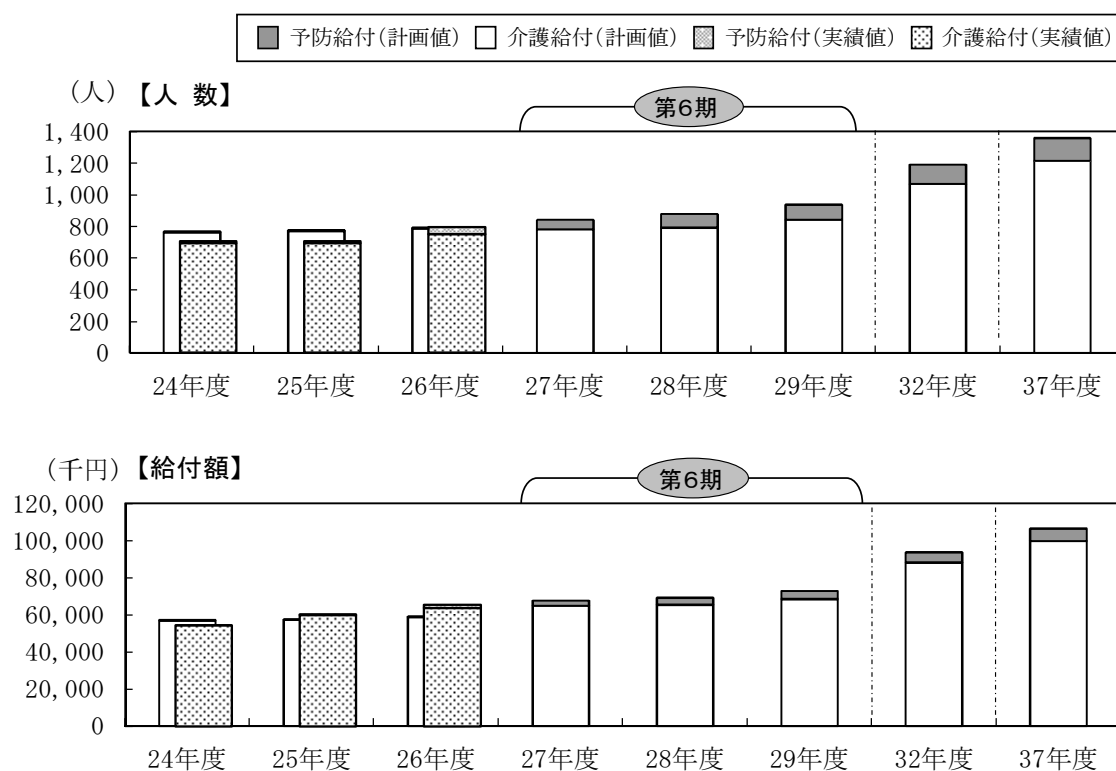
人 数		24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	32 年度	37 年度
計 画	予防給付	7	5	4	60	84	96	120	144
	介護給付	760	769	786	780	792	840	1,068	1,212
	合 計	767	774	790	840	876	936	1,188	1,356
実 績	予防給付	9	11	43					
	介護給付	691	690	746					
	合 計	700	701	789					
計画と実績の差		△ 67	△ 73	△ 1					

単位：千円

給付額		24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	32 年度	37 年度
計 画	予防給付	97	76	61	2,860	3,787	4,329	5,672	6,633
	介護給付	56,857	57,202	58,755	64,751	65,237	68,416	87,995	99,668
	合 計	56,954	57,278	58,816	67,611	69,024	72,745	93,667	106,301
実 績	予防給付	234	439	2,010					
	介護給付	54,039	59,673	63,427					
	合 計	54,273	60,112	65,437					
計画と実績の差		△ 2,681	2,834	6,621					

※平成 26 年度は、見込みの数値。

短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護



⑨短期入所療養介護・介護予防短期入所療養介護

7)実績

利用人数…予防給付の利用実績は数人であり、介護給付は各年とも計画値を下回り、3か年の実績は計画値より135人減となっています。

給付額…給付額は増減を繰り返していますが、全体として計画値を下回る給付額で推移しています。第5期3か年の給付額は約3,000万円であり、計画値より約1,700万円減となっています。

1)第6期の見込み

第6期においては、平成26年度の実績に基づきながら、認定者数の伸びを勘案し、給付額を見込んでいます。29年度では26年実績より約270万円増と推計しています。第6期3か年の給付額は約4,500万円で、5期実績より約1,500万円増と推計しています。

単位：人

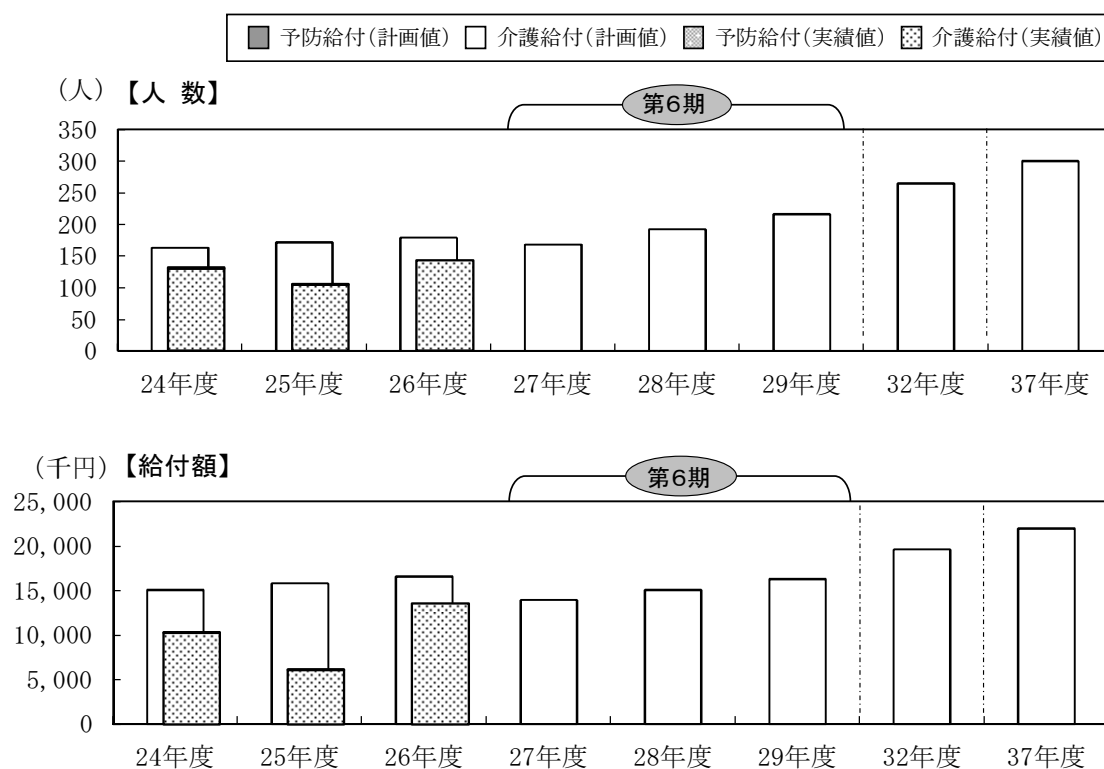
人 数		24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	32 年度	37 年度
計 画	予防給付	0	0	0	0	0	0	0	0
	介護給付	163	171	179	168	192	216	264	300
	合 計	163	171	179	168	192	216	264	300
実 績	予防給付	2	1	0					
	介護給付	129	104	142					
	合 計	131	105	142					
計画と実績の差		△ 32	△ 66	△ 37					

単位：千円

給付額		24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	32 年度	37 年度
計 画	予防給付	0	0	0	0	0	0	0	0
	介護給付	15,033	15,786	16,529	13,913	15,011	16,232	19,603	21,939
	合 計	15,033	15,786	16,529	13,913	15,011	16,232	19,603	21,939
実 績	予防給付	119	52	0					
	介護給付	10,200	6,084	13,488					
	合 計	10,319	6,136	13,488					
計画と実績の差		△ 4,714	△ 9,650	△ 3,041					

※平成26年度は、見込みの数値。

短期入所療養介護・介護予防短期入所療養介護



⑩特定施設入居者生活介護・介護予防特定施設入居者生活介護

7)実績

利用人数…予防給付の利用実績は数人で計画値を下回っていますが、介護給付は計画値を大きく上回っています。

給付額…介護給付は増加しており、また各年とも計画値を上回っています。特に26年度では計画値の約3倍になっています。第5期3か年の給付額は約2億4,000万円であり、計画値より約1億2,000万円増となっています。

1)第6期の見込み

第6期においては、利用が大きく伸びた平成26年度の実績と認定者数の伸びを勘案し、増加傾向で見込んでいます。29年度では26年実績より5,900万円の増と推計しています。第6期3か年の給付額は約5億円で、5期実績より約2億6,000万円増と推計しています。

単位：人

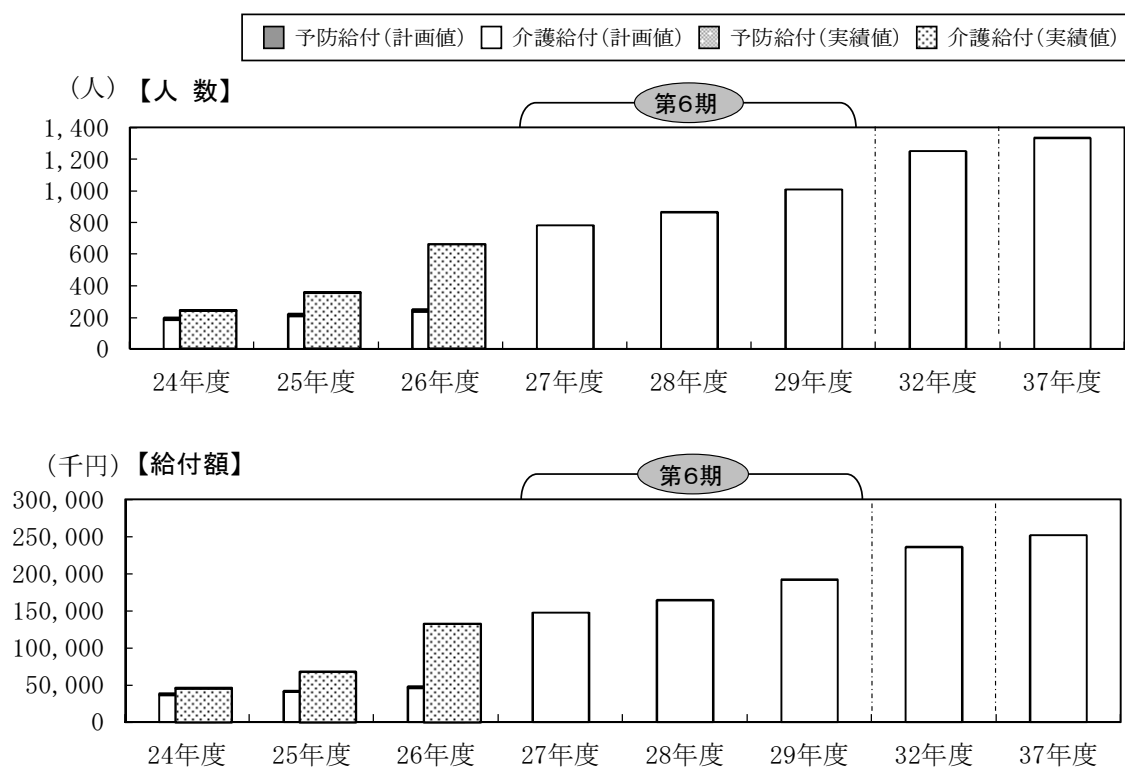
人 数		24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	32 年度	37 年度
計 画	予防給付	12	12	12	0	0	0	0	0
	介護給付	186	207	237	780	864	1,008	1,248	1,332
	合 計	198	219	249	780	864	1,008	1,248	1,332
実 績	予防給付	3	1	0					
	介護給付	240	353	656					
	合 計	243	354	656					
計画と実績の差		45	135	407					

単位：千円

給付額		24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	32 年度	37 年度
計 画	予防給付	1,620	1,620	1,620	0	0	0	0	0
	介護給付	36,534	40,432	46,126	147,300	164,496	191,486	235,472	251,373
	合 計	38,154	42,052	47,746	147,300	164,496	191,486	235,472	251,373
実 績	予防給付	143	60	0					
	介護給付	45,301	67,722	132,004					
	合 計	45,444	67,782	132,004					
計画と実績の差		7,290	25,730	84,258					

※平成26年度は、見込みの数値。

特定施設入居者生活介護・介護予防特定施設入居者生活介護



⑪福祉用具貸与・介護予防福祉用具貸与

ア)実績

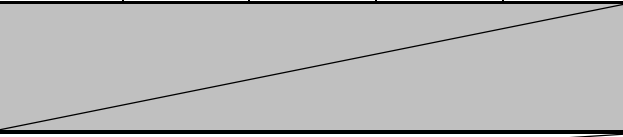
利用人数…利用人数は予防給付、介護給付とも増加で推移していますが、予防給付は計画値を上回り、介護給付は 24 年度を除き、計画値を下回っています。

給 付 額…給付額も人数と同様の傾向であり、全体では 24 年度だけが計画値を上回り、25 年度、26 年度は下回っています。第 5 期 3 か年の給付額は約 1 億 9,000 万円であり、ほぼ計画値どおりの実績となっています。(約 90 万円のみ増)

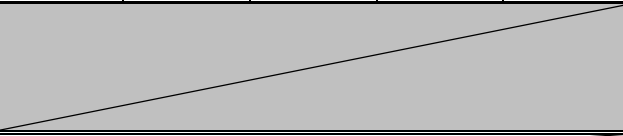
イ)第 6 期の見込み

第 6 期においては、第 5 期の実績と認定者数の伸びを勘案し、増加傾向で見込んでいます。29 年度では 26 年実績より 1,000 万円の増と推計しています。第 6 期 3 か年の給付額は約 2 億 2,000 万円で、5 期実績より約 3,000 万円増と推計しています。

単位：人

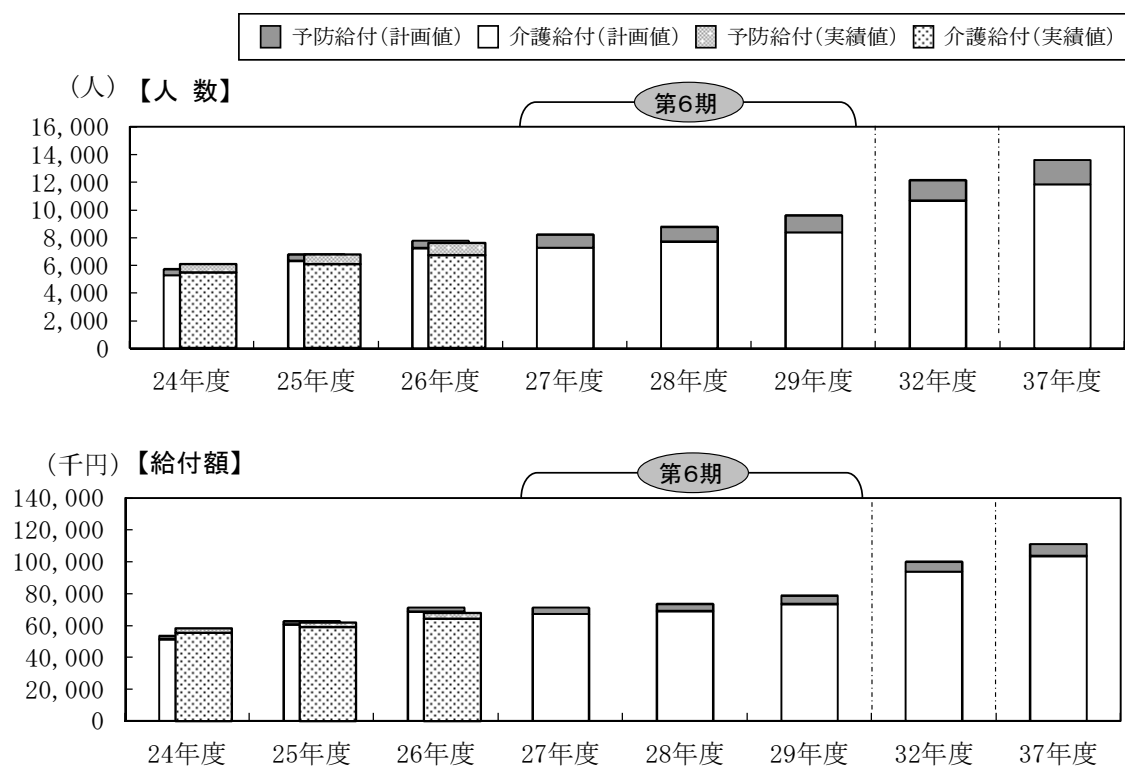
人 数		24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	32 年度	37 年度
計 画	予防給付	443	473	535	960	1,056	1,212	1,512	1,764
	介護給付	5,272	6,298	7,233	7,260	7,692	8,364	10,632	11,820
	合 計	5,715	6,771	7,768	8,220	8,748	9,576	12,144	13,584
実 績	予防給付	607	724	885					
	介護給付	5,427	6,019	6,657					
	合 計	6,034	6,743	7,542					
計画と実績の差		319	△ 28	△ 226					

単位：千円

給付額		24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	32 年度	37 年度
計 画	予防給付	2,024	2,162	2,447	3,956	4,365	5,032	6,260	7,314
	介護給付	51,149	60,373	68,626	67,135	68,952	73,467	93,665	103,667
	合 計	53,173	62,535	71,073	71,091	73,317	78,499	99,925	110,981
実 績	予防給付	2,882	2,980	3,661					
	介護給付	55,103	58,972	64,121					
	合 計	57,985	61,952	67,782					
計画と実績の差		4,812	△ 583	△ 3,291					

※平成 26 年度は、見込みの数値。

福祉用具貸与・介護予防福祉用具貸与



⑫特定福祉用具販売・介護予防特定福祉用具販売

ア)実績

利用人数…予防給付は24年度を除き、計画どおりの利用人数となっていますが、介護給付は24年度を除き、計画値を下回っています。

給付額…予防給付では各年とも計画値を上回っていますが、介護給付は26年度のみ上回っています。第5期3か年の給付額は約1,100万円であり、ほぼ計画値どおりの実績となっています。(約40万円のみ減)

イ)第6期の見込み

第6期においては、平成26年度の実績と認定者数の増加を勘案しながら、微増で見込んでいます。29年度では26年実績より約60万円の増と推計しています。第6期3か年の給付額は約1,400万円で、5期実績より約300万円増と推計しています。

単位：人

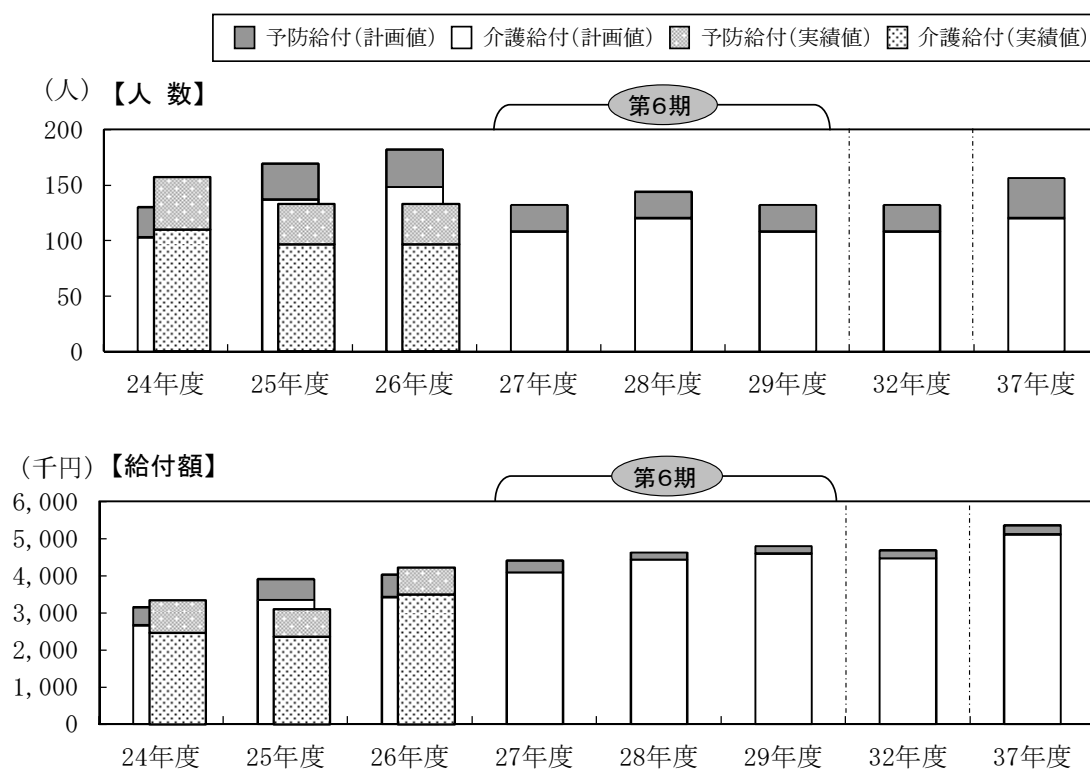
人 数		24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	32 年度	37 年度
計 画	予防給付	27	32	34	24	24	24	24	36
	介護給付	103	137	148	108	120	108	108	120
	合 計	130	169	182	132	144	132	132	156
実 績	予防給付	47	36	36					
	介護給付	109	96	96					
	合 計	156	132	132					
計画と実績の差		26	△ 37	△ 50					

単位：千円

給付額		24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	32 年度	37 年度
計 画	予防給付	478	558	606	317	197	206	219	241
	介護給付	2,659	3,342	3,416	4,082	4,421	4,584	4,463	5,103
	合 計	3,137	3,900	4,022	4,399	4,618	4,790	4,682	5,344
実 績	予防給付	884	750	739					
	介護給付	2,459	2,343	3,480					
	合 計	3,343	3,093	4,219					
計画と実績の差		206	△ 807	197					

※平成26年度は、見込みの数値。

特定福祉用具販売・介護予防特定福祉用具販売



⑬住宅改修・介護予防住宅改修

ア)実績

利用人数…利用者は概ね横ばいで推移しています。予防給付は各年とも計画値を上回り、介護給付は24年度を除き、概ね計画値どおりの実績となっています。

給付額…予防給付の26年度を除き、予防給付、介護給付ともに計画値を上回っています。第5期3か年の給付額は約5,000万円であり、計画値より約800万円増となっています。

イ)第6期の見込み

第6期においては、第5期の実績を勘案しながら、概ね横ばいで見込んでいます。29年度では26年実績より約200万円の増と推計しています。第6期3か年の給付額は約4,800万円で、5期実績より約100万円減と推計しています。

単位：人

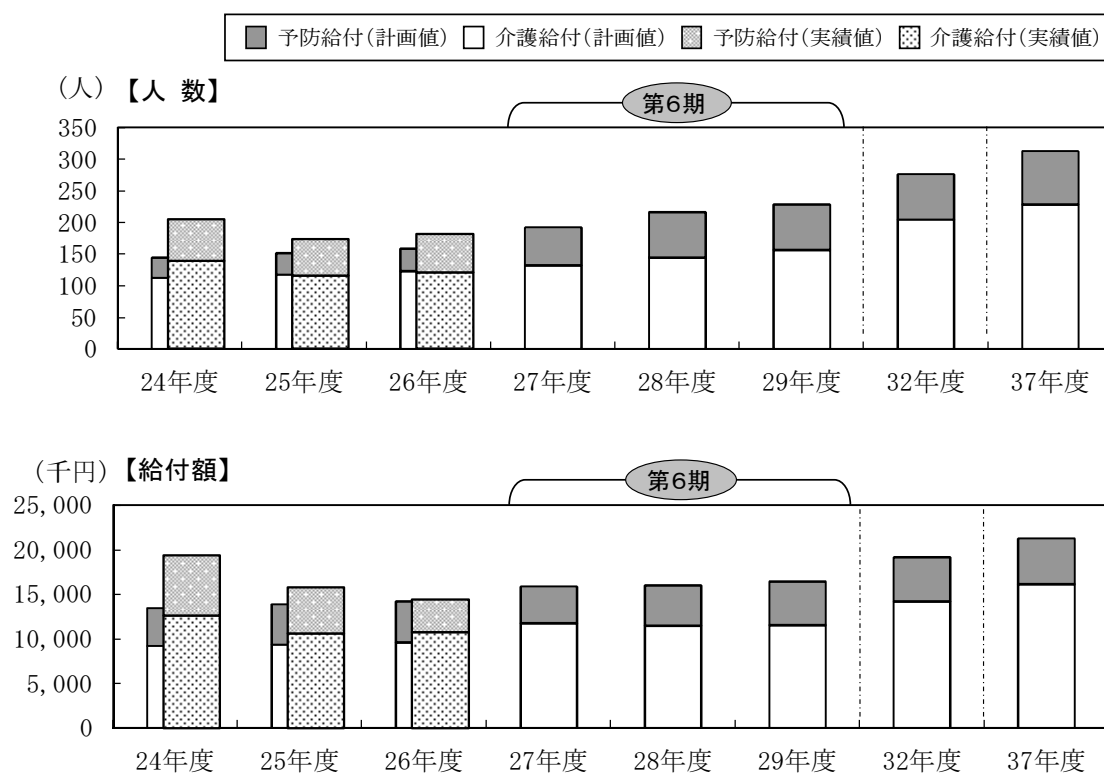
人 数		24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	32 年度	37 年度
計 画	予防給付	32	34	35	60	72	72	72	84
	介護給付	112	117	123	132	144	156	204	228
	合 計	144	151	158	192	216	228	276	312
実 績	予防給付	66	57	60					
	介護給付	138	115	120					
	合 計	204	172	180					
計画と実績の差		60	21	22					

単位：千円

給付額		24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	32 年度	37 年度
計 画	予防給付	4,270	4,516	4,604	4,130	4,516	4,891	4,943	5,147
	介護給付	9,174	9,344	9,589	11,723	11,443	11,504	14,173	16,109
	合 計	13,444	13,860	14,193	15,853	15,959	16,395	19,116	21,256
実 績	予防給付	6,810	5,198	3,679					
	介護給付	12,565	10,569	10,720					
	合 計	19,375	15,767	14,399					
計画と実績の差		5,931	1,907	206					

※平成26年度は、見込みの数値。

住宅改修・介護予防住宅改修



⑭居宅介護支援・介護予防支援

㊦実績

利用人数…介護予防は計画値を大きく上回っていますが、介護給付では大きく下回っています。全体としては計画より約 900 人多い実績となっています。

給付額…予防給付は各年ともに計画値を上回っていますが、介護給付が計画値を大きく下回っています。第 5 期 3 か年の給付額は約 5 億 4,000 万円であり、計画値より約 5,600 万円減となっています。

1) 第 6 期の見込み

第 6 期においては、概ね横ばいであった第 5 期の実績と認定者の増加を勘案し、ゆるやかな増加で見込んでいます。29 年度では 26 年実績より約 3,100 万円の増と推計しています。第 6 期 3 か年の給付額は約 5 億 8,300 万円で、5 期実績より約 4,300 万円増と推計しています。

単位：人

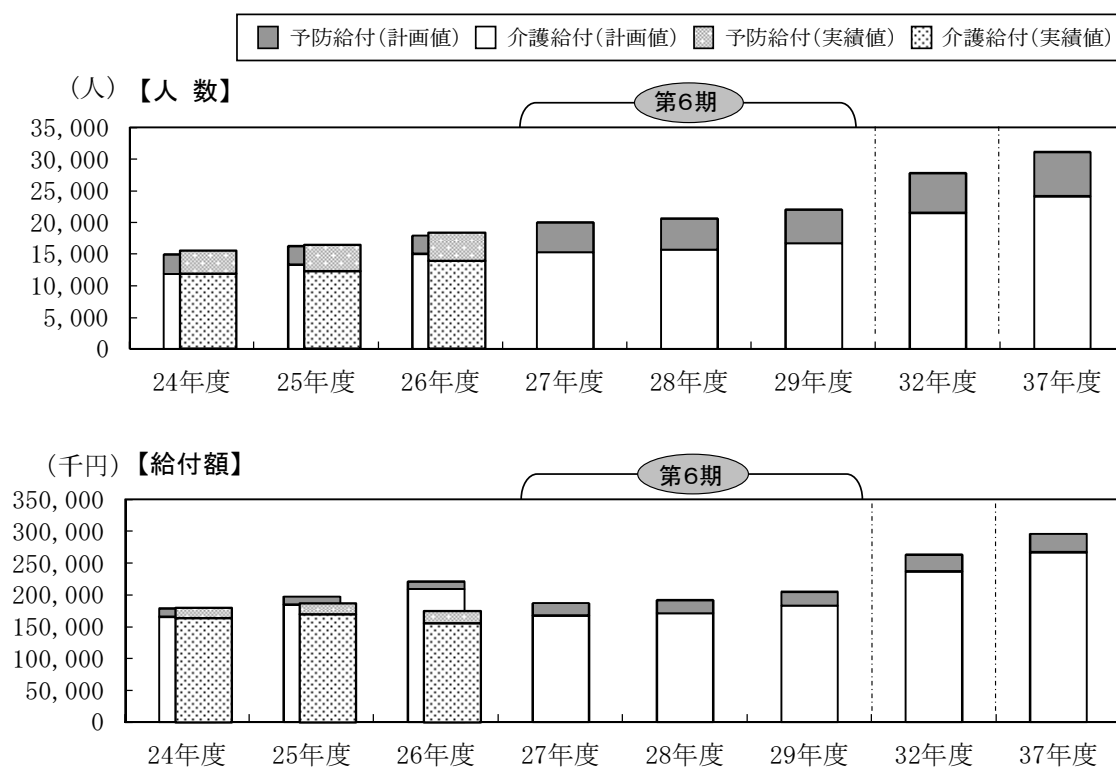
人 数		24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	32 年度	37 年度
計 画	予防給付	3,066	2,952	2,844	4,692	4,920	5,280	6,252	6,984
	介護給付	11,849	13,285	15,025	15,252	15,636	16,680	21,456	24,108
	合 計	14,915	16,237	17,869	19,944	20,556	21,960	27,708	31,092
実 績	予防給付	3,594	4,056	4,442					
	介護給付	11,799	12,219	13,792					
	合 計	15,393	16,275	18,234					
計画と実績の差		478	38	365					

単位：千円

給付額		24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	32 年度	37 年度
計 画	予防給付	13,063	12,579	12,119	19,489	20,396	21,871	25,955	28,951
	介護給付	164,910	184,691	208,688	167,243	170,991	182,603	236,949	266,665
	合 計	177,973	197,270	220,807	186,732	191,387	204,474	262,904	295,616
実 績	予防給付	15,308	17,212	18,842					
	介護給付	163,558	169,583	155,183					
	合 計	178,866	186,795	174,025					
計画と実績の差		893	△ 10,475	△ 46,782					

※平成 26 年度は、見込みの数値。

居宅介護支援・介護予防支援



(2)各施設サービスの見込み

①介護老人福祉施設

ア)実績

利用人数…利用人数は平成 24 年度から 25 年には減少し、その後横ばいとなっています。実績は計画値を下回っており、概ね各年 200 人程度低くなっています。

給付額…給付額も利用人数と同様になっており、第 5 期 3 カ年の給付額は約 15 億 7,000 万円であり、計画値より約 1 億 3,000 万円減となっています。

イ)第 6 期の見込み

第 6 期においては、平成 25 年度、26 年度の実績に基づいて概ね横ばいで見込んでいます。第 6 期 3 か年の給付額は約 15 億 2,000 万円で、5 期実績より約 5,000 万円減と推計しています。

②介護老人保健施設

ア)実績

利用人数…利用人数は横ばいから減少傾向で推移しています。実績は計画値を下回っており、24 年度、25 年度は 80 人程度、26 年度では 279 人低くなっています。

給付額…給付額も利用人数と同様になっており、第 5 期 3 カ年の給付額は約 20 億円であり、計画値より約 1 億 2,000 万円減となっています。

イ)第 6 期の見込み

第 6 期においては、平成 26 年度の実績に基づきながら、概ね横ばいで見込んでいます。第 6 期 3 か年の給付額は約 18 億 7,000 万円で、5 期実績より約 1 億 3,000 万円減と推計しています。

③介護療養型医療施設

ア)実績

利用人数…利用人数が少ない施設サービスですが、実績は計画値をやや上回っています。特に 25 年度は 11 人増となっています。

給付額…給付額も利用人数と同様になっており、第 5 期 3 カ年の給付額は約 1,300 万円であり、計画値より約 300 万円増となっています。

1) 第 6 期の見込み

第 6 期においては、平成 26 年度の利用人数を横ばいと設定し、また給付額は平成 27 年度で微増、その後は横ばいで見込んでいます。第 6 期 3 か年の給付額は約 1,200 万円で、5 期実績より約 100 万円減と推計しています。

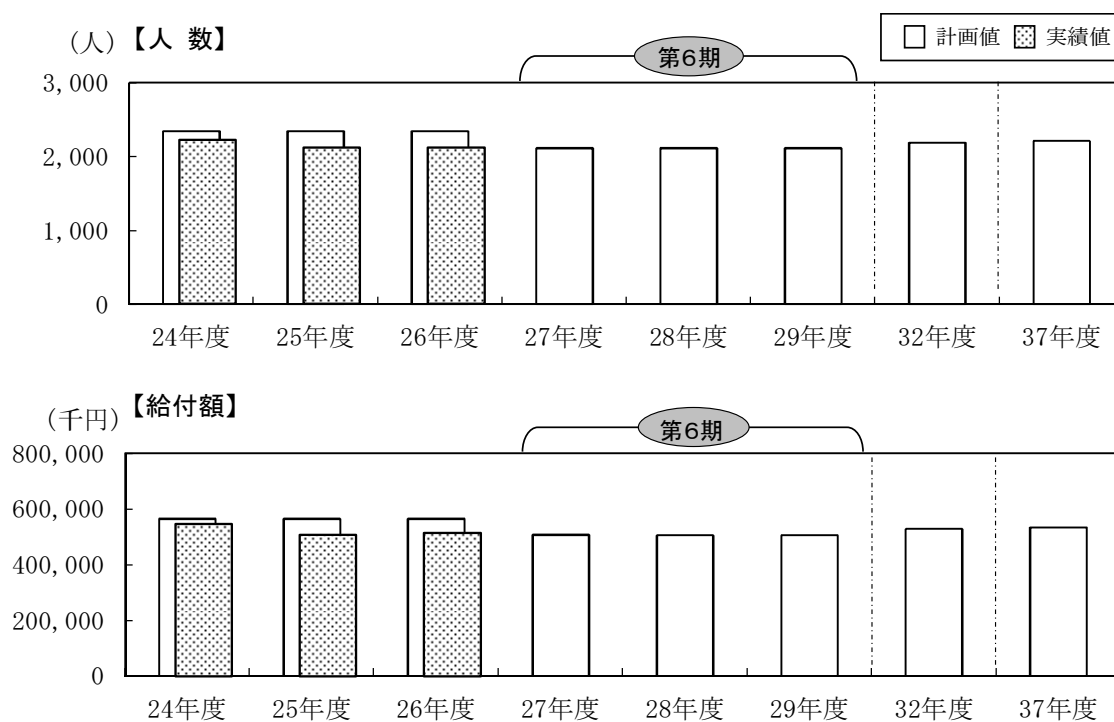
単位：人

人 数		24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	32 年度	37 年度
老人福祉施設	計画	2,340	2,340	2,340	2,112	2,112	2,112	2,184	2,208
	実績	2,211	2,104	2,105					
計画と実績の差		△ 129	△ 236	△ 235					
老人保健施設	計画	2,664	2,664	2,664	2,400	2,400	2,400	2,412	2,412
	実績	2,582	2,584	2,385					
計画と実績の差		△ 82	△ 80	△ 279					
介護療養型	計画	12	12	12	12	12	12	0	0
	実績	14	23	15					
計画と実績の差		2	11	3					

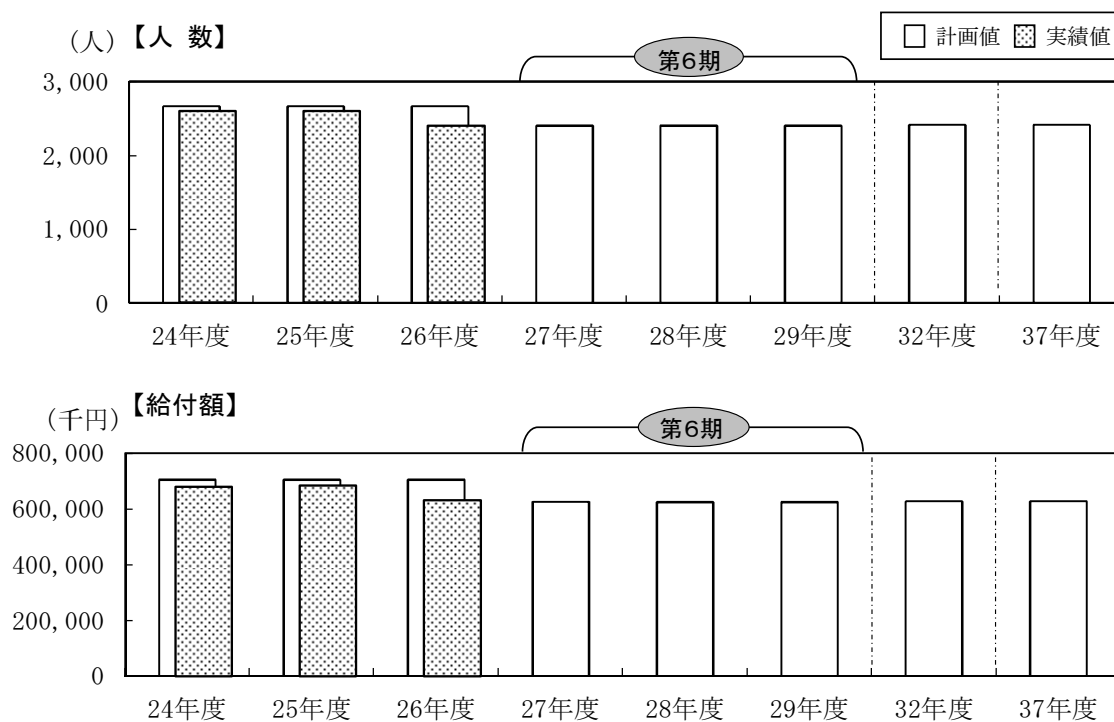
単位：千円

給付額		24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	32 年度	37 年度
老人福祉施設	計画	564,503	564,503	564,503	506,256	505,278	505,278	527,502	533,632
	実績	544,529	507,248	513,591					
計画と実績の差		△ 19,974	△ 57,255	△ 50,912					
老人保健施設	計画	703,047	703,047	703,047	625,409	624,201	624,201	627,289	627,289
	実績	678,009	684,012	630,856					
計画と実績の差		△ 25,038	△ 19,035	△ 72,191					
介護療養型	計画	3,269	3,269	3,269	4,011	4,003	4,003	0	0
	実績	3,395	5,939	3,798					
計画と実績の差		126	2,670	529					

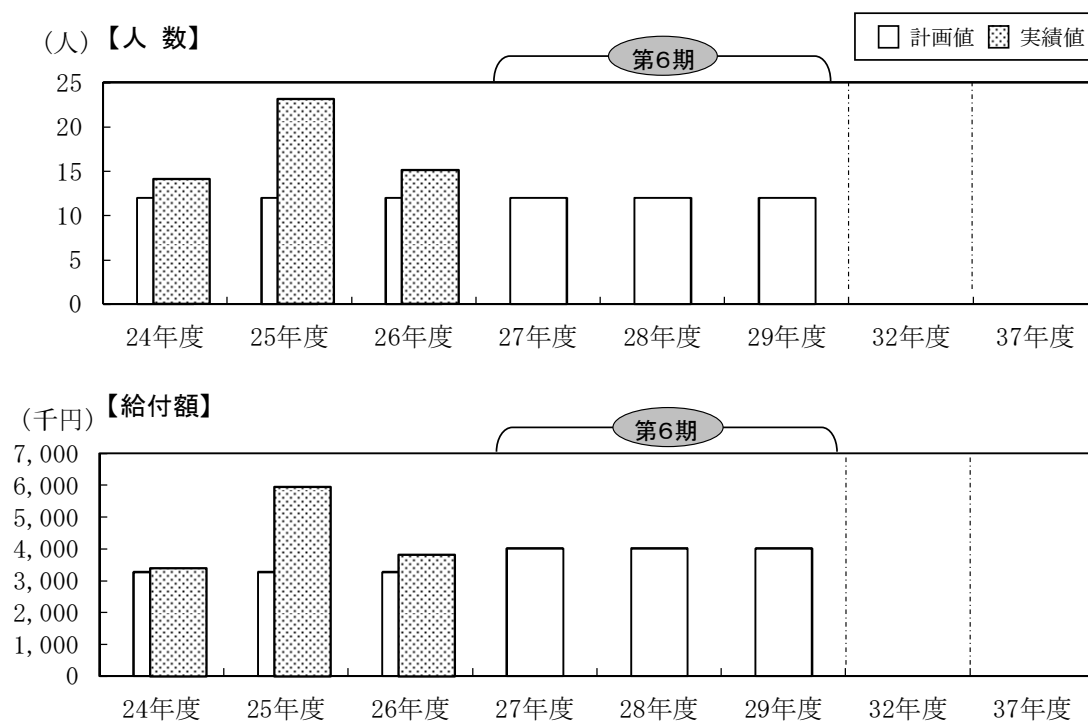
介護老人福祉施設



介護老人保健施設



介護療養型医療施設



(3) 各地域密着型サービスの見込み

① 認知症対応型通所介護・介護予防認知症対応型通所介護

ア) 実績

利用人数…予防給付の実績はありません。介護給付では人数は減少傾向となっています。実績は計画値を下回って推移しており、年間 100 人程度の利用となっています。

給付額…給付額も利用人数と同様に減少傾向で推移しています。第 5 期 3 カ年の給付額は約 5,200 万円であり、計画値より約 1,400 万円減となっています。

イ) 第 6 期の見込み

第 6 期においては、平成 26 年度の実績と認定者の増加を勘案しながら見込んでいます。第 6 期 3 か年の給付額は約 4,500 万円で、5 期実績より約 700 万円減と推計しています。

単位：人

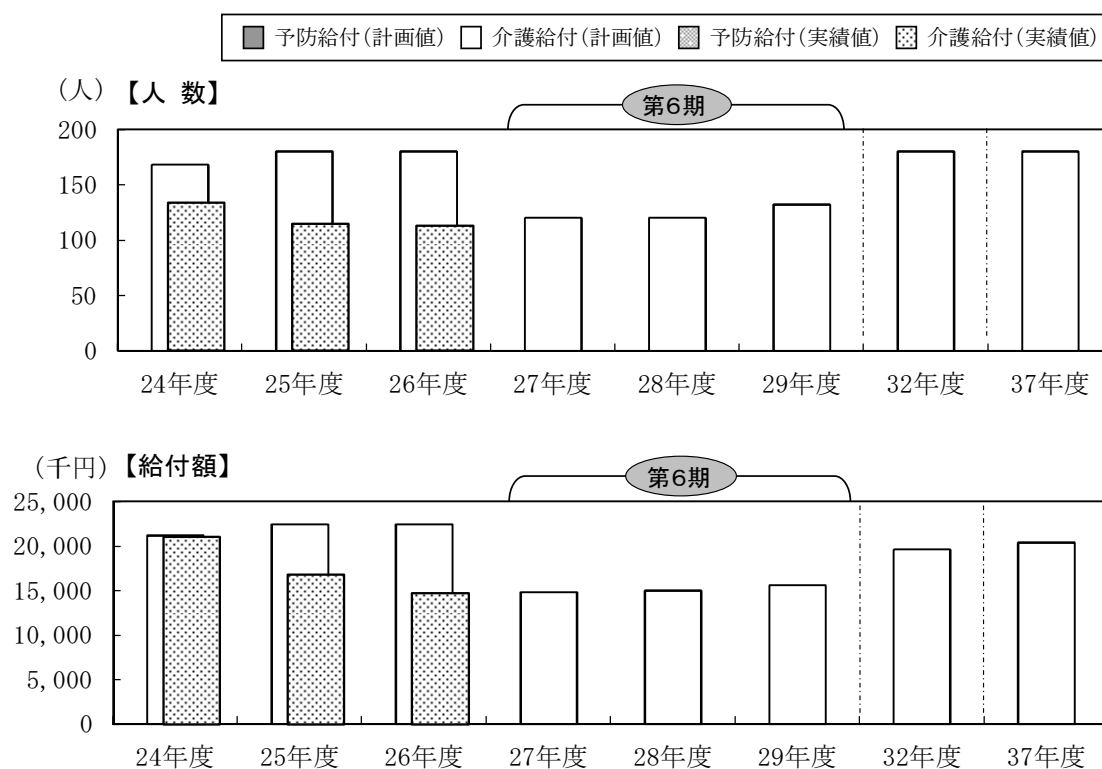
人 数		24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	32 年度	37 年度
計 画	予防給付	0	0	0	0	0	0	0	0
	介護給付	168	180	180	120	120	132	180	180
	合 計	168	180	180	120	120	132	180	180
実 績	予防給付	0	0	0					
	介護給付	133	114	112					
	合 計	133	114	112					
計画と実績の差		△ 35	△ 66	△ 68					

単位：千円

給付額		24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	32 年度	37 年度
計 画	予防給付	0	0	0	0	0	0	0	0
	介護給付	21,138	22,417	22,417	14,781	14,988	15,568	19,601	20,332
	合 計	21,138	22,417	22,417	14,781	14,988	15,568	19,601	20,332
実 績	予防給付	0	0	0					
	介護給付	21,003	16,760	14,698					
	合 計	21,003	16,760	14,698					
計画と実績の差		△ 135	△ 5,657	△ 7,719					

※平成 26 年度は、見込みの数値。

認知症対応型通所介護・介護予防認知症対応型通所介護



②認知症対応型共同生活介護・介護予防認知症対応型共同生活介護

ア)実績

利用人数…予防給付の実績は平成 24 年度に 2 件あるだけで、計画値の各年度 12 人を下回っています。介護給付では 25 年度、26 年度で計画値を下回っています。

給付額…給付額も 25 年度、26 年度では計画値を下回っています。第 5 期 3 カ年の給付額は約 2 億 3,000 万円であり、計画値より約 3,000 万円減となっています。

イ)第 6 期の見込み

第 6 期においては、第 5 期の実績や現行のサービス提供量（受け入れ可能人数）の維持を勘案しながら、概ね横ばいで見込んでいます。第 6 期 3 か年の給付額は約 2 億 2,000 万円で、5 期実績より約 1,000 万円減と推計しています。

単位：人

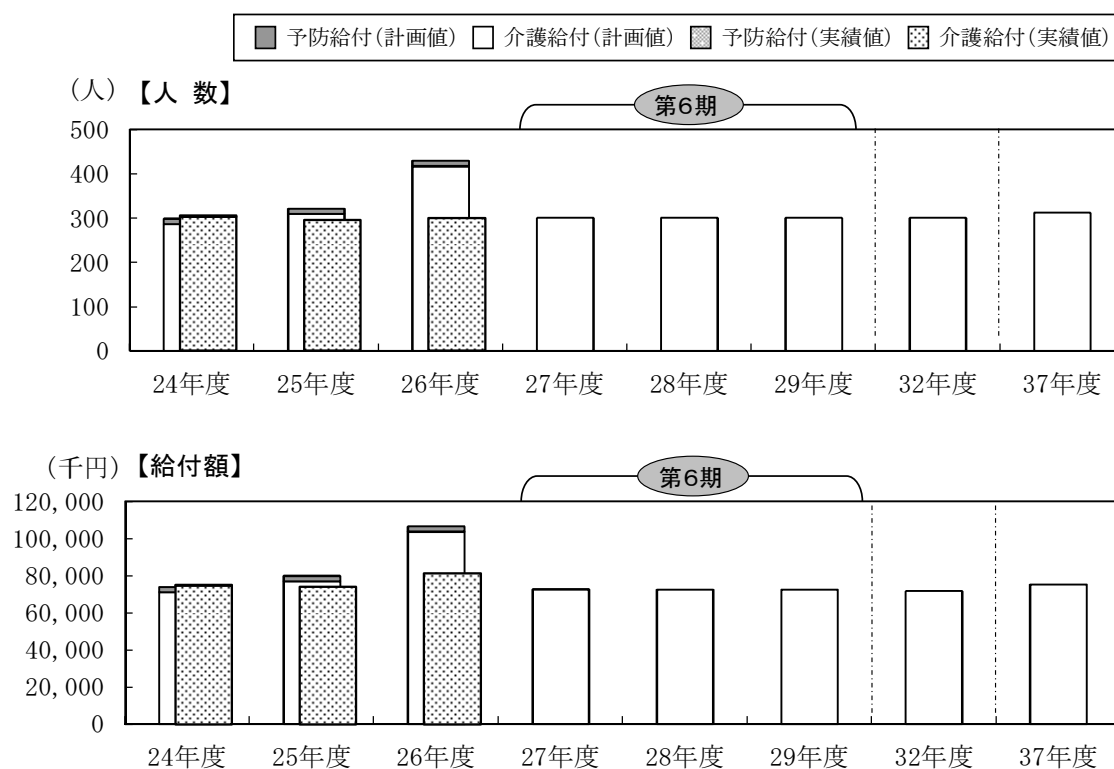
人 数		24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	32 年度	37 年度
計 画	予防給付	12	12	12	0	0	0	0	0
	介護給付	286	309	417	300	300	300	300	312
	合 計	298	321	429	300	300	300	300	312
実 績	予防給付	2	0	0					
	介護給付	301	294	298					
	合 計	303	294	298					
計画と実績の差		5	△ 27	△ 131					

単位：千円

給付額		24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	32 年度	37 年度
計 画	予防給付	2,866	2,866	2,866	0	0	0	0	0
	介護給付	70,957	76,871	103,545	72,576	72,436	72,436	71,587	75,181
	合 計	73,823	79,737	106,411	72,576	72,436	72,436	71,587	75,181
実 績	予防給付	477	0	0					
	介護給付	74,566	73,724	81,096					
	合 計	75,043	73,724	81,096					
計画と実績の差		1,220	△ 6,013	△ 25,315					

※平成 26 年度は、見込みの数値。

認知症対応型共同生活介護・介護予防認知症対応型共同生活介護



③小規模多機能型居宅介護・介護予防小規模多機能型居宅介護

7)実績

利用人数と給付額…本サービスは、平成 26 年度後半から開始した新しい取り組みであり、見込量設定時にはまだ利用実績がありませんでした。

1)第 6 期の見込み

小規模多機能型居宅介護は、定員 25 人が上限であるため、これを勘案するとともに、平成 29 年度にも新規整備を検討しており、これらを勘案して見込身を行っています。

第 6 期 3 か年の給付額は約 1 億 7,000 万円になると推計しています。

単位：人

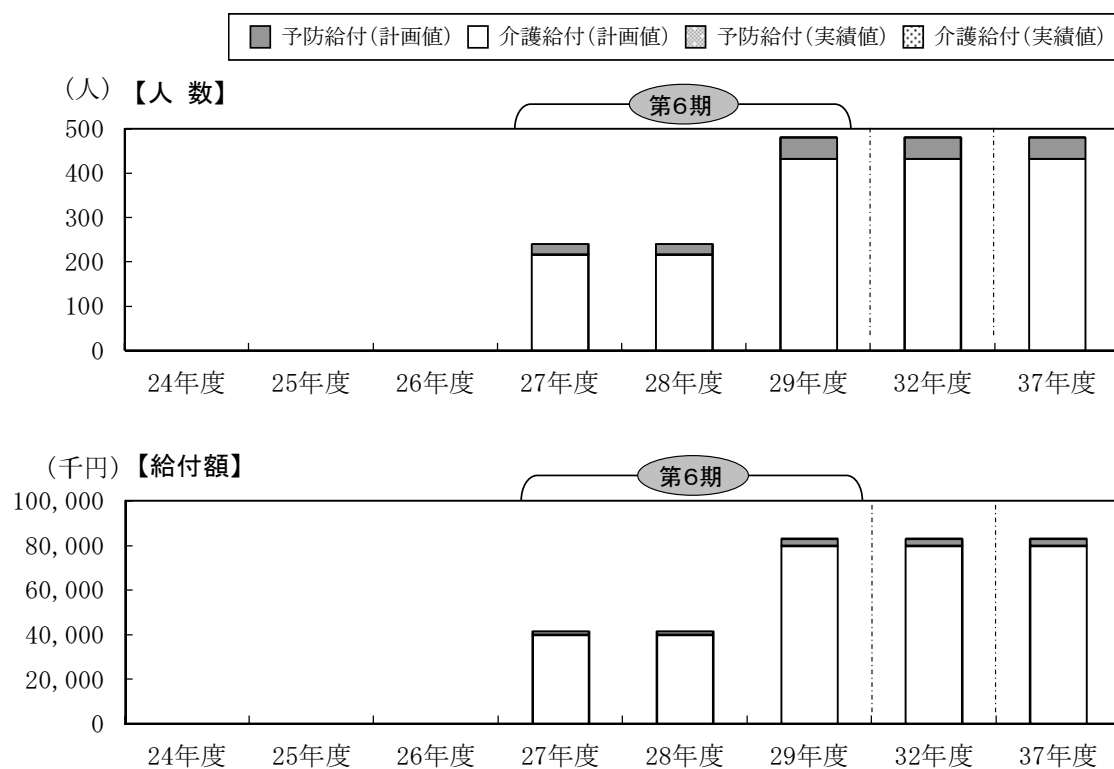
人 数		24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	32 年度	37 年度
計 画	予防給付	—	—	—	24	24	48	48	48
	介護給付	—	—	—	216	216	432	432	432
	合 計	—	—	—	240	240	480	480	480
実 績	予防給付	—	—	—					
	介護給付	—	—	—					
	合 計	—	—	—					
計画と実績の差		—	—	—					

単位：千円

給付額		24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	32 年度	37 年度
計 画	予防給付	—	—	—	1,580	1,580	3,159	3,159	3,159
	介護給付	—	—	—	39,831	39,831	79,662	79,662	79,662
	合 計	—	—	—	41,411	41,411	82,821	82,821	82,821
実 績	予防給付	—	—	—					
	介護給付	—	—	—					
	合 計	—	—	—					
計画と実績の差		—	—	—					

※第 5 期の実績はありません。

小規模多機能型居宅介護・介護予防小規模多機能型居宅介護



4. その他サービス費等の推計

① 特定入所者介護サービス費

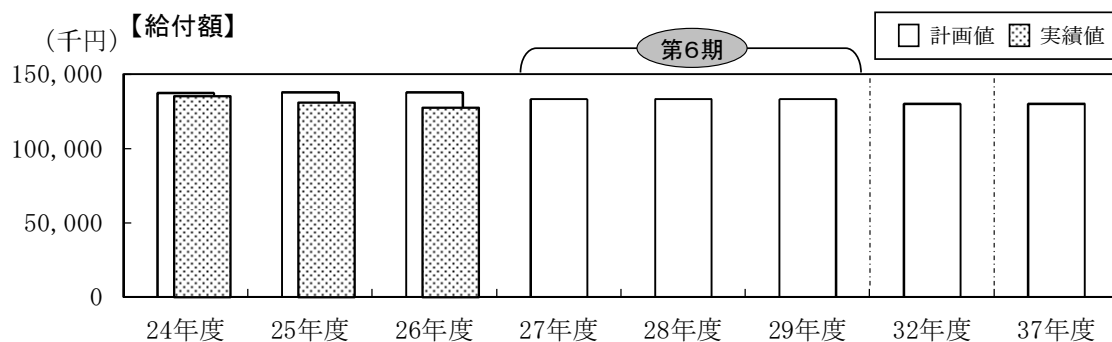
第5期の給付額は計画よりやや低く、また概ね横ばいで推移しています。第6期については、第5期の実績値を基に、横ばいで見込んでおり、3年間で約4億円と推計しています。

単位：千円

給付額	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	32年度	37年度
計画	137,197	137,430	137,663	133,000	133,000	133,000	130,000	130,000
実績	135,113	130,805	127,272					
計画と実績の差	△ 2,084	△ 6,625	△ 10,391					

※平成26年度は、見込みの数値。

特定入所者介護サービス費



②高額介護サービス費

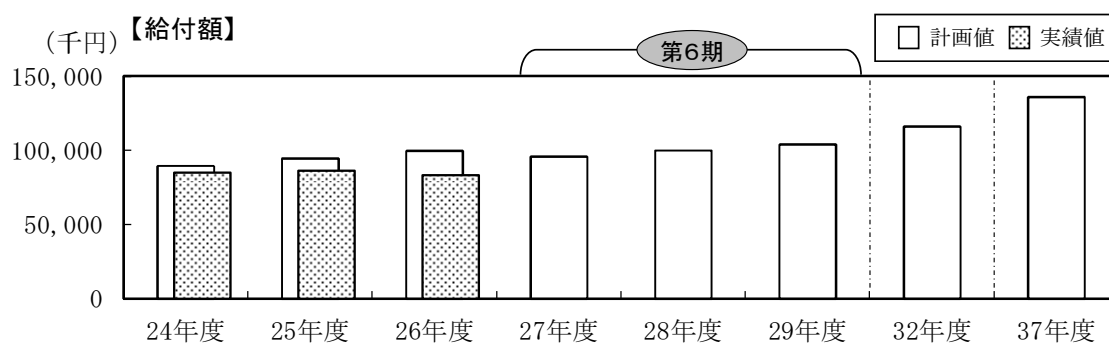
第5期の給付額は計画よりやや低く、また微増傾向となっています。第6期については、第5期の実績値、推移を基に微増で見込んでおり、3年間で約3億円と推計しています。

単位：千円

給付額	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	32年度	37年度
計画	89,301	94,435	99,570	95,782	99,777	103,772	115,756	135,730
実績	84,743	86,250	83,235					
計画と実績の差	△ 4,558	△ 8,185	△ 16,335					

※平成26年度は、見込みの数値。

高額介護サービス費



③高額医療合算サービス費

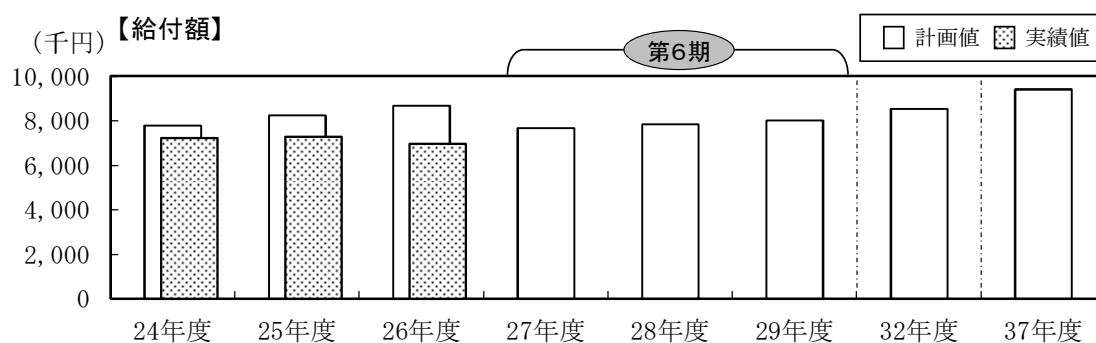
第5期の給付額は計画より低く、またほぼ横ばいで推移しています。第6期については、第5期の実績値を勘案しながら微増で見込んでおり、3年間で約 2,300 万円と推計しています。

単位：千円

給付額	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	32 年度	37 年度
計画	7,774	8,221	8,668	7,656	7,830	8,005	8,528	9,401
実績	7,220	7,262	6,961					
計画と実績の差	△ 554	△ 959	△ 1,707					

※平成 26 年度は、見込みの数値。

高額医療合算サービス費



④審査支払手数料

第5期の給付額は計画をやや上回っており、また微増傾向で推移しています。第6期については、第5期の実績値を基に、微増で見込んでおり、3年間で約 1,300 万円と推計しています。

単位：件

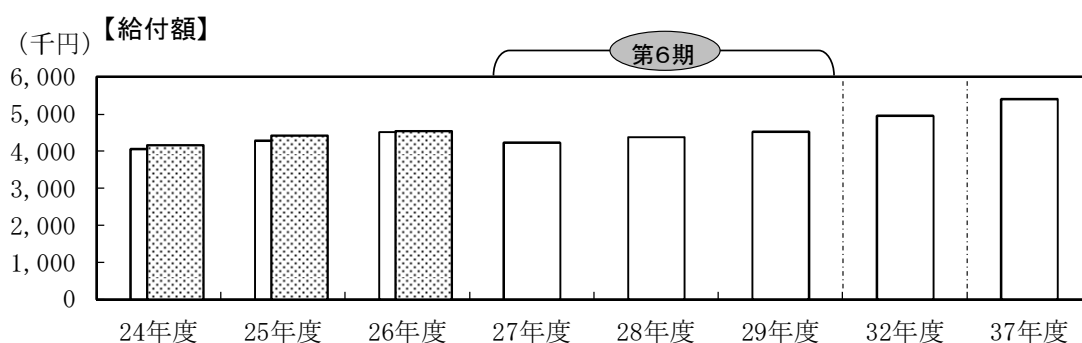
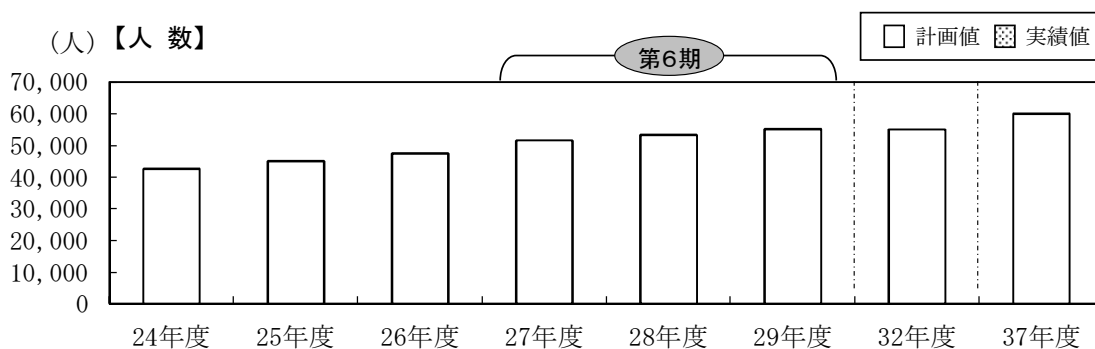
件数	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	32 年度	37 年度
計画	42,590	45,039	47,488	51,500	53,282	55,125	55,000	60,000
実績								
計画と実績の差	△ 42,590	△ 45,039	△ 47,488					

単位：千円

給付額	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	32 年度	37 年度
計画	4,046	4,279	4,511	4,223	4,369	4,520	4,950	5,400
実績	4,153	4,406	4,542					
計画と実績の差	107	127	31					

※平成 26 年度は、見込みの数値。

審査支払手数料



5. 第1号被保険者保険料必要額

(1) 給付費総額の見込み

第6期の給付費総額は、3年間で約110億2,800万円と見込まれています。第5期の実績より約8億4,200万円の増加で、1年あたりでは約2億8,000万円の増となっています。

<第5期の実績 介護保険サービス給付費総額>

単位：千円

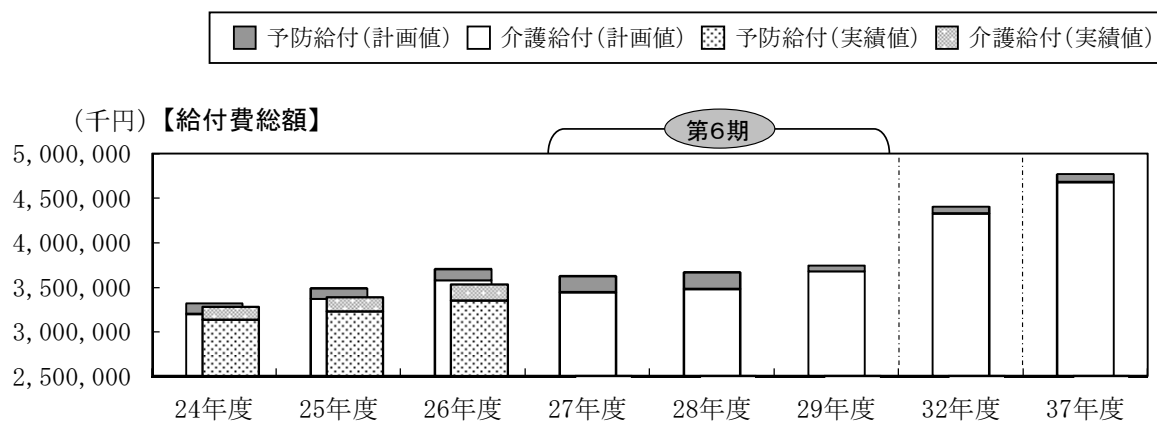
	平成24年度	平成25年度	平成26年度 (実績見込み)	3年間の給付額
計画	3,316,483	3,487,540	3,697,994	10,502,017
実績	3,276,921	3,384,209	3,524,790	10,185,920
計画と実績の差	△ 39,562	△ 103,331	△ 173,204	△ 316,097

<第6期の見込み 介護保険サービス給付費総額>

単位：千円

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	3年間の給付額
見込み	3,620,490	3,667,436	3,740,147	11,028,073
第5期実績からの増加分				842,153 (1年分)280,718

給付費総額



(2) 標準給付費、地域支援事業費の見込み

標準給付費、地域支援事業費の見込額は次のとおりです。地域支援事業費は、審査支払手数料を除く標準給付費見込額に占める割合で見込みますが、平成 27 は、3.00%、28 年度は 3.54%、平成 29 年度からは、新しい総合事業（介護予防・日常生活支援総合事業）を開始するため事業費が増え、7.03%と見込んでいます。

＜標準給付費の見込み＞

単位：千円

項 目	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	3 年間の合計
給付費総額 (一定以上所得者負担の調整後)	3,610,429	3,652,087	3,724,448	10,986,964
給付費総額(再掲)	3,620,490	3,667,436	3,740,147	11,028,073
一定以上所得者の利用者負担の見直しに伴う財政影響額	10,061	15,349	15,699	41,109
特定入所者介護サービス費	124,604	117,264	115,693	357,561
高額介護サービス費	95,782	99,777	103,772	299,331
高額医療合算介護サービス費	7,656	7,830	8,005	23,490
審査支払手数料	4,223	4,369	4,520	13,112
標準給付費見込額(上記計)	3,842,693	3,881,327	3,956,438	11,680,458

＜地域支援事業費の見込み＞

単位：千円

項 目	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	3 年間の合計
地域支援事業費	115,153 3.00%	137,342 3.54%	278,000 7.03%	530,495 4.54%
介護予防・日常生活支援 総合事業費	56,959 1.48%	60,342 1.55%	201,000 5.08%	318,301 2.73%
包括的支援事業・任意事 業費	58,194 1.51%	77,000 1.98%	77,000 1.95%	212,194 1.82%

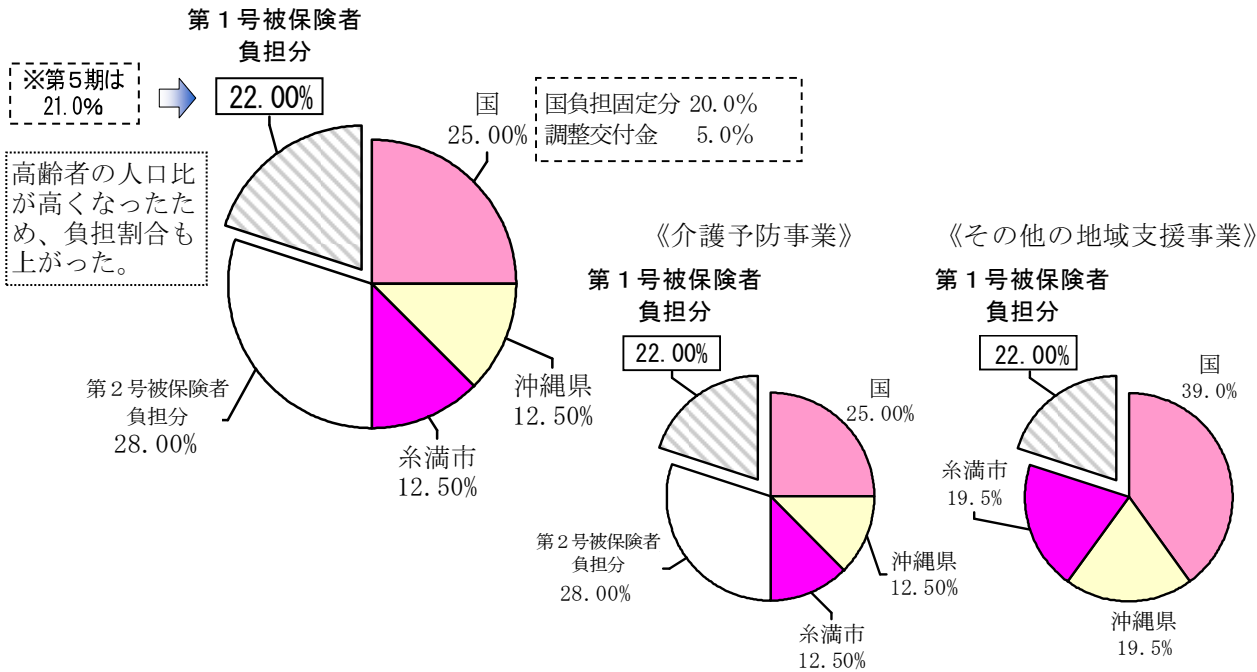
※上記の率は、審査支払手数料を除く標準給付費見込額に対する割合です。

(3) 負担割合

標準給付費見込額と地域支援事業費をあわせた金額のうち、22%が保険料にかかる費用にあたります。

第1号被保険者の介護保険料は、上記の費用と市町村それぞれの状況（第1号被保険者の所得状況や後期被保険者の割合など）に応じた係数や補助率を用いて算出されます。（169、170 ページに計算表を掲載）。

<標準給付費の負担割合>



(4) 第 1 号被保険者負担額の積算

75 歳以上の高齢者の割合や低所得者の割合が高い保険者の第 1 号被保険者保険料を軽減するために、公費（調整交付金）が交付されます。基準は標準給付費の 5 %ですが、後期高齢者の割合や低所得者の割合が高いと、交付割合が上昇します。糸満市の第 6 期での交付割合は、平成 27 年度で 8.52%、28 年度で 7.94%、29 年度では 7.59%と見込まれます。

本市では、第 5 期において給付実績が計画額を下回ったため、財政安定化基金の借入れはありません。（財政安定化基金償還金は全額第 1 号被保険者の負担となります。）

市町村特別給付は、第 6 期でも実施しないこととします。（実施する際の費用は、すべて第 1 号被保険者の負担となります。）

また、市に設置した「介護給付費準備基金」より 6,000 万円の取り崩しを行い、保険料の軽減を図ります。

第 1 号被保険者負担額の積算

単位：千円

項 目	算式	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	合計
標準給付費見込額	A	3,842,693	3,881,327	3,956,438	11,680,458
地域支援事業費	B	115,153	137,342	278,000	530,495
小 計	C A+B	3,957,846	4,018,669	4,234,438	12,210,953
第 1 号被保険者負担相当額	D C×22%	870,726	884,107	931,576	2,686,410
調整交付金（5%相当分）	E A×5%	192,135	194,066	197,822	584,023
調整交付金見込交付割合	F	8.52%	7.94%	7.59%	
調整交付金（見込交付割合）	G A×F	327,397	308,177	300,294	935,868
調整交付金よりの減額分	H G-E	135,262	114,111	102,472	351,845
調整交付金減額後の負担相当額	I D-H	735,464	769,997	829,104	2,334,565
財政安定化基金償還金	J	0	0	0	0
準備基金取り崩し額	K	20,000	20,000	20,000	60,000
第 1 号被保険者保険料必要額	L I+J-K	715,464	749,997	809,104	2,274,565
保険料収納率	M	97.00%	97.00%	97.00%	97.00%
第 1 号被保険者保険料負担必要額	N L÷M	737,592	773,192	834,128	2,344,912

※端数処理の為、計算が合わない箇所があります。

※第 5 期中の積立金の一部を取り崩すことにより保険料軽減に活用する。

6. 第1号被保険者の介護保険料について

(1) 第1号被保険者の第6期介護保険料

○それぞれの所得段階の被保険者数に保険料率を乗じて合計した数が、補正後の被保険者数（所得段階別加入割合補正後被保険者数）となります。

○第1号被保険者の保険料基準額（月額）は、【第1号被保険者保険料必要額÷収納率÷補正後の被保険者数÷12カ月】で算出されます。

○第6期の保険料基準額は月額6,540円と算定されました。第5期の保険料よりも270円高くなっています。

○第6期は、国から新しく9段階での区分が示されました。（第5段階が基準額）糸満市では、低所得者の保険料軽減を図るため、10段階の区分設定をしています。第6段階以上の方には収入に応じて基準額より高い負担割合になりますが、現行より軽減される段階が多くなっています。

項 目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	合計
第1号被保険者保険料負担必要額（千円） ※169ページより	737,592	773,192	834,128	2,344,912
所得段階別加入割合補正後被保険者数（人）	9,568	9,896	10,416	29,880
保険料基準額（月額・単位：円）				6,540

<第1号被保険者の保険料基準額>

第5期の基準額（月額）	6,270円
第6期の基準額（月額）	6,540円

< 所得段階別の月額保険料額 >

	第 6 期保険料 (月額)	第 6 期保険料 (年額)	基準額に 対する割合	所得区分
第 1 段階	3,270 円	39,240 円	0.50	生活保護の受給者、または老齢福祉年金受給者で世帯全員が市民税非課税の方、または世帯全員が市民税非課税で、前年の合計所得金額と公的年金等収入額が80万円以下の方
第 2 段階	4,905 円	58,860 円	0.75	世帯全員が市民税非課税で、前年の合計所得金額が80万円以上120万円未満の方
第 3 段階	4,905 円	58,860 円	0.75	世帯全員が市民税非課税で、前年の合計所得金額が120万円以上の方
第 4 段階	5,886 円	70,632 円	0.90	本人が市民税非課税で、世帯の誰か（配偶者や子供等）が市民税課税で前年の合計所得金額と公的年金等収入額が80万円以下の方
第 5 段階 (基準額)	6,540 円	78,480 円	1.00	本人が市民税非課税で、世帯の誰か（配偶者や子供等）が市民税課税で前年の合計所得金額と公的年金等収入額が80万円を超える方
第 6 段階	8,175 円	98,100 円	1.25	本人が市民税課税で、前年の合計所得金額が120万円未満の方
第 7 段階	8,502 円	102,024 円	1.30	本人が市民税課税で、前年の合計所得金額が120万円以上190万円未満の方
第 8 段階	10,464 円	125,568 円	1.60	本人が市民税課税で、前年の合計所得金額が190万円以上400万円未満の方
第 9 段階	11,772 円	141,264 円	1.80	本人が市民税課税で、前年の合計所得金額が400万円以上600万円未満の方
第 10 段階	13,080 円	156,960 円	2.00	本人が市民税課税で、前年の合計所得金額が600万円以上の方

※国では、保険料の軽減措置を考えており、平成 27 年度は第 1 段階、平成 29 年度は消費税 10%の導入状況により、第 1 段階から第 3 段階で軽減される予定です。具体的には、国からの指針が示された後に金額変更を行います。

7. 自然体推計による平成 32 年と 37 年の見込みについて

(1) 平成 32・37 年度の標準給付費、地域支援事業費の見込み

国の保険料算定ワークシートを活用して算出したところ、平成 32 年度、37 年度の標準給付費、地域支援事業費の見込額は以下の表のとおりです。標準給付費に占める地域支援事業費の割合は、平成 32 年度で 6.22%、37 年度では 5.75%と見込んでおります。新しい総合事業での地域ボランティア等も活用した見守りや生活支援、介護予防の取り組みを強化することで、地域支援事業費の抑制を図っています。

< 標準給付費の見込み >

単位：千円

項 目	平成 32 年度	平成 37 年度
給付費総額（一定以上所得者負担の調整後）	4,384,453	4,745,890
給付費総額	4,403,553	4,766,860
一定以上所得者の利用者負担の見直しに伴う財政影響額	19,100	20,970
特定入所者介護サービス費	113,083	113,083
高額介護サービス費	115,756	135,730
高額医療合算介護サービス費	8,528	9,401
審査支払手数料	4,950	5,400
標準給付費見込額(上記計)	4,626,770	5,009,504

< 地域支援事業費の見込み >

単位：千円

項 目	平成 32 年度	平成 37 年度
地域支援事業費	287,968	287,968
	6.22%	5.75%
介護予防・日常生活支援総合事業費	210,000	210,000
	4.54%	4.19%
包括的支援事業・任意事業費	77,968	77,968
	1.69%	1.56%

※上記の率は、審査支払手数料を除く標準給付費見込額に対する割合です。

第 1 号被保険者負担額の積算

単位：千円

項 目		算式	平成 32 年度	平成 37 年度
標準給付費見込額	A		4,626,770	5,009,504
地域支援事業費	B		287,968	287,968
小 計	C	A+B	4,914,738	5,297,472
第 1 号被保険者負担相当額 ※「%」は第 1 号被保険者負担割合。計画の見直しごとに 1 % ずつ上昇している。	D	C×各%	(C×23%) 1,130,390	(C×24%) 1,271,393
調整交付金（5%相当分）	E	A×5%	231,339	250,475
調整交付金見込交付割合	F		5.59%	3.98%
調整交付金（見込交付割合）	G	A×F	258,636	199,378
調整交付金よりの減額分	H	G-E	27,297	-51,097
調整交付金減額後の負担相当額	I	D-H	1,103,092	1,322,491
財政安定化基金償還金	J		0	0
準備基金取り崩し額	K		10,000	0
第 1 号被保険者保険料必要額	L	I+J-K	1,093,092	1,322,491
保険料収納率	M		97.00%	97.00%
第 1 号被保険者保険料負担必要額	N	L÷M	1,126,899	1,363,392

※端数処理の為、計算が合わない箇所があります。

(2)平成 32・37 年の第 1 号被保険者の介護保険料

平成 32 年度、37 年度の第 1 号被保険者の介護保険料は、自然体推計では基準額である第 5 段階が平成 32 年度で 8,046 円、37 年度には 8,766 円になると推計されています。（推計値は現行の制度や伸び率等を使用した国のワークシートによる自然体での推計であり、今後の制度改正や介護サービスの利用状況により変化するものです。）

(3)平成 32 年と平成 37 年に向けての方策

平成 32 年と平成 37 年の見込量及び保険料については、認定率をはじめ、国のワークシートによる自然体推計で算出しています。総給付費の見込みは、第 6 期より大きく伸びると予測されております。

市では、このような給付費の伸びを抑制するため、老人福祉計画の健康づくりや生きがい対策を確実に進めるとともに、第 6 期で導入する「新しい総合事業」の展開に重点を置きながら、地域ボランティアの活用による要支援の方々の受け皿づくり、支え合いの環境づくりに努めます。その後、平成 32 年、37 年の計画期間においては地域支援事業の強化を図り、緩和した基準による訪問介護と通所介護のサービス提供とともに、身近な地域での支え合い、交流・生きがいの場、見守りなどの活動を発展させていくように図ります。